

ならしの消防

消防年報

(平成30年版)



「奈良公園」

奈良市消防局

(令和元年刊行)

は じ め に



消防局長 西 岡 光 治

奈良市消防局は、消防行政の実態を紹介するために昭和56年から毎年消防年報を刊行しております。

創刊以来、日々社会経済情勢は変化しており、本市の消防行政もそれに対応すべくソフト、ハード両面にわたって刷新しつづけています。

この年報では、新しく変わりつつある奈良市消防の現在のすがたをわかりやすく紹介するため業務内容、火災・救急統計等を系統別に収録し分析しています。

なお、この年報において、何年中とあるのは暦年間（1月1日から12月31日）、何年度とあるのは会計年度（4月1日から3月31日）をいい、原則として、予算関係は会計年度、それ以外のものについては、平成31年4月1日現在の現況及び暦年で取りまとめました。

今後における消防行政推進の資料として活用いただければ幸いです。

奈良市消防局

目 次

消防情勢	1
1 奈良市の概要	2
2 奈良市消防の沿革	3
3 消防機関配置図	8
(1) 局、署所配置図	8
(2) 消防施設	9
総務関係	11
4 奈良市消防局の組織	12
5 事務分掌	13
6 消防予算	17
(1) 一般会計予算額と消防費との比較	17
(2) 消防費予算の一般会計に対する比率の推移	17
(3) 消防予算の内訳及び前年度との比較(当初予算)	18
(4) 消防費に対する人口・世帯当たりの額	18
(5) 消防費性質別予算額	18
7 職員の階級別配置状況	19
8 職員の階級別勤続年数調べ	20
9 職員の階級別年令調べ	21
10 職員の研修状況	22
11 奈良市消防音楽隊の概要	23
(1) 音楽隊員の配置状況	23
(2) 音楽隊の編成状況	23
(3) 音楽隊の活動状況	25
防災センター関係	26
12 奈良市防災センター	27
(1) 防災センター	27
(2) 概要	27
(3) 入館状況	28
(4) 施設利用状況	28
警防関係	29
13 消防車両等の配備状況	30
14 消防水利状況	31
(1) 消火栓	31
(2) 防火水槽	31
(3) その他の水利	31

通信関係 32

15	通信施設	33
(1)	基地局	33
(2)	無線電話の現状	34
(3)	有線電話	35
(4)	119番着信件数	36
(5)	119番通報種別割合	37
(6)	テレフォンガイド利用数	37
(7)	月別気象状況(消防局)	38
(8)	月別気象状況(東消防署)	39

救急関係 40

16	救急概要	41
17	救急資器材	42
18	救急概況(前年との比較)	43
19	署別救急状況	44
20	署別救急件数	45
21	月別救急状況	46
22	時間別救急状況	47
23	傷病程度別搬送人員	48
24	救急隊員が行った応急処置回数	49
25	救急救命士による特定行為実施状況	50
26	診療科目別搬送人員	50
27	過去5ヵ年の事故別救急状況	51

救助関係 52

28	救助概要	53
29	高度救助用資機材	54
30	救助資機材	55
31	救助概況(前年との比較)	56
32	署別救助出動状況	57
33	月別救助出動状況	58
34	発生場所別救助出動状況	59

予防関係 60

35	防火対象物一覧	61
36	用途別中高層建築物状況	63
37	消防同意処理状況	65
38	過去5ヵ年の建築同意処理件数状況	65
39	消防法及び火災予防条例に基づく各種届出状況	66
40	類別、数量別危険物施設数	68
41	危険物施設数及び各種許可処理状況	69

42	奈良市所在の指定文化財	70
43	火災予防広報等活動状況	71
44	女性防災クラブ・幼年消防クラブの現状	72
	(1) 女性防災クラブ	72
	(2) 幼年消防クラブ	73
火災統計		74
45	火災概要	74
46	火災概況(前年との比較)	75
47	署別火災概況	76
48	過去5ヵ年の火災状況	77
49	校区别火災状況	78
50	気象別火災状況	79
	(1) 風速別	79
	(2) 湿度別	79
51	覚知方法別火災状況	79
52	曜日別火災状況	79
53	覚知時間別火災状況	80
54	月別火災状況	81
55	用途別・原因別火災状況	82
消防団関係		83
56	奈良市消防団の組織	84
57	消防団員の階級別定員数	86
58	消防団員の新任状況	87
59	消防団員の退職状況	87
60	在職年数別消防団員数	88
61	消防団員の職業状況	88
62	消防団員の表彰状況	89
63	消防団員の出勤状況	89
64	消防団機械器具等配備状況	90
65	消防団員の報酬、費用弁償	91

※ グラフ中の数値が「0」の場合（合計欄の「0」は表記あり）は空白としています

消 防 情 勢



「平成 3 1 年奈良市消防出初式」

1 奈良市の概要

奈良市は、大和青垣国定公園、奈良公園、矢田自然公園など美しい自然のなかに位置し、特に特別天然記念物に指定されている春日山原始林をはじめとする緑の環境に恵まれています。

明治31年2月市制施行当初、市域面積23.44K㎡、人口3万人足らずでしたが、大正12年4月添上郡佐保村の編入をはじめとし、6回にわたり町村が編入されました。また、平成の合併では平成17年4月1日に月ヶ瀬村と都祁村が編入し新しい奈良市がスタートしました。

現在、市域面積は276.94K㎡に拡大され、人口も36万人近くになります。

その間、昭和25年には国際文化観光都市を宣言し、昭和41年には正倉院周辺春日奥山に古都保存法が適用され、歴史都市として個性ある街づくりをしています。

千三百年近くを生きる木造建築物など、奈良のまちには、世界遺産「古都奈良の文化財」をはじめ、数多くの歴史的遺産があります。これらは、先人たちが学術・芸術・技術の粋を集めて創り上げ、平城京で花開いた人類共有の貴重な宝です。

こうした美しく豊かな自然と、今日まで先人たちが守り伝えてくれた文化財の防火をはじめ、多様化した市民のニーズに十分応えうる都市基盤や社会資本の充実、そして災害に強いまちづくりの建設、またそれにふさわしい行政の施策展開のための体制づくりが急務となっており、いにしえに学んだ知恵を活かしながら、国際都市として、また近畿圏における中枢都市としてさらなる発展を続けています。

人口・世帯数の推移

年 別 (年)	面積 (K㎡)	世帯数	1世帯当 たり平均 世帯人員	人 口			人口密度 (K㎡当たり)	摘 要
				男	女	計		
大正9	23.44	8,737	4.61	20,270	20,031	40,301	1,719	国勢調査10月1日
14	29.92	10,369	4.71	25,033	23,846	48,879	1,634	〃
昭和5	29.92	11,336	4.66	26,195	26,589	52,784	1,764	〃
10	29.92	11,840	4.73	27,594	28,374	55,968	1,871	〃
15	29.80	12,332	4.64	27,477	29,796	57,273	1,922	〃
20	39.52	16,430	4.25	31,417	38,398	69,815	1,767	人口調査11月1日
22	39.52	17,708	4.65	42,512	39,887	82,399	2,085	臨時国勢調査10月1日
25	39.52	17,487	4.45	38,097	39,769	77,866	1,970	国勢調査10月1日
30	121.22	25,552	4.53	55,322	60,352	115,674	954	〃
35	210.33	31,026	4.34	65,548	69,029	134,577	640	〃
40	211.91	40,738	3.94	77,865	82,776	160,641	758	〃
45	211.91	57,111	3.65	100,561	107,705	208,266	983	〃
50	211.91	73,651	3.50	124,773	132,765	257,538	1,215	〃
55	211.91	90,821	3.28	144,250	153,703	297,953	1,406	〃
60	211.91	100,798	3.25	157,989	169,713	327,702	1,546	〃
平成2	211.61	112,990	3.09	167,310	182,039	349,349	1,651	〃
7	211.60	123,718	2.90	171,926	187,292	359,218	1,698	〃
12	211.60	133,774	2.74	173,652	192,533	366,185	1,731	〃
16	211.60	143,052	2.56	174,539	191,756	366,295	1,731	4月1日 現 在
17	276.84	140,462	2.63	174,469	195,633	370,102	1,336	〃
18	276.84	147,888	2.51	176,769	195,141	371,910	1,343	〃
19	276.84	149,230	2.49	176,021	194,831	370,852	1,340	〃
20	276.84	150,626	2.45	175,194	194,514	369,708	1,335	〃
21	276.84	151,965	2.43	174,334	194,258	368,592	1,331	〃
22	276.84	153,361	2.40	173,981	194,116	368,097	1,330	〃
23	276.84	154,902	2.37	173,632	194,085	367,717	1,328	〃
24	276.84	155,968	2.35	172,881	193,548	366,429	1,324	〃
25	276.84	156,045	2.34	172,026	192,810	364,836	1,318	〃
26	276.84	157,276	2.32	171,773	192,553	364,326	1,316	〃
27	276.94	158,268	2.29	170,927	192,124	363,051	1,311	〃
28	276.94	159,297	2.27	170,012	191,411	361,423	1,305	〃
29	276.94	160,242	2.24	169,045	190,621	359,666	1,299	〃
30	276.94	161,392	2.22	168,225	189,930	358,155	1,293	〃
31	276.94	162,380	2.19	167,210	189,142	356,352	1,287	〃

注) 平成26年10月1日 国土地理院より市域面積の新数値が公表される。

2 奈良市消防の沿革（平成元年以降、明治～昭和については奈良市消防沿革史にて保管）

平成	元年	4月	第六代消防長に森井堯運氏就任 警防課に特別消防救助隊を設置
		8月	法蓮町926番地の4に東消防署佐保出張所を移転
	1	1月	秋の火災予防運動初日（11月9日）に三条通りを初の防火パレード実施
	1	2月	防災指導車購入
2年	4月		消防職員定数 260名
	9月		中消防署西大寺出張所改築工事のため、二条町二丁目80番地の3に仮出張所を設置 第1回救急展を奈良そごうにおいて実施
3年	3月		50m級梯子車購入
	4月		消防職員定数 270名
	7月		患者等搬送事業乗務員講習会実施
4年	1月		中消防署西大寺出張所改築完成
	4月		消防職員定数 288名 右京二丁目1番地の1に中消防署北出張所新設、同所に35m級梯子車配備 東消防署佐保出張所に救急車配備
	5月		第1回救急救命士国家試験合格 1名
	6月		学園前保育園幼年消防クラブ発足 50名
	1	1月	第2回救急救命士国家試験合格 1名
5年	3月		日本損害保険協会より救急普及啓発広報車の寄贈
	4月		消防職員定数 302名 高規格救急車（1台）購入 救急救命士の業務開始
	6月		みずほ保育園幼年消防クラブ発足 30名
	1	0月	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（CD-1）の寄贈
6年	4月		消防職員定数 317名 応急手当普及啓発活動の開始 第5回救急救命士国家試験合格 1名
7年	1月		阪神大震災が発生し緊急消防援助隊として職員を派遣
	4月		第七代消防長に古田育宏氏就任 第7回救急救命士国家試験合格 1名 消防職員定数 344名
	7月		財団法人奈良市防災センター設立 初代理事長に森井堯運氏就任
	8月		奈良市防災センター（消防本部同一敷地内）運用開始
8年	3月		通信指令室を奈良市防災センター3階に移転し奈良市消防通信指令総合システム運用開始 災害対応特殊救急車（1台購入） 東消防署に配備 警防課に後方支援車を配備
	4月		第八代消防長に林茂樹氏就任 大柳生町1232番地に東消防署東部出張所新設 6出張所の所長に消防司令を配置 通信指令室に管理係を設置 第9回救急救命士国家試験合格 2名 消防職員定数 344名
	5月		県下の消防本部を設置している市町村相互間において、奈良県消防広域相互応援協定締結
9年	2月		特別表彰「まとい」受章
	4月		消防職員定数 354名 消防署の主幹を廃止し、副署長を置く。
	4月		第11回救急救命士国家試験合格 1名

		東大阪市、生駒市及び奈良市は、第二阪奈有料道路における消防相互応援協定を締結
	5月	情報収集用二輪車（オフロードバイク）3台購入
10年	2月	市政100周年を迎える。
	3月	ならまち消防ポンプ収納庫設置（飛鳥小学校）
	4月	消防長事務取扱に桐木弘助役就任
		奈良市消防本部を奈良市消防局に名称変更
		中消防署北出張所を北消防署に昇格
		警防課特別消防救助隊を救急救助課に改組
		通信指令室を指令課に名称変更
		文化財防災官1名（消防司令長）を設置
		第13回救急救命士国家試験合格 1名
		奈良県防災ヘリコプター導入に伴い隊長（司令長級）1名派遣
	7月	第四代消防団長に辰巳道憲氏就任
10月		愛の園保育園幼年消防クラブ発足 10名
		中登美保育園幼年消防クラブ発足 37名
11月		第14回救急救命士国家試験合格 1名
12月		「古都奈良の文化財」8資産群がユネスコの世界遺産に登録
11年	3月	第九代消防長に松田久雄氏就任
		西消防署に高規格救急車を配備
		防災ヘリコプター運用に伴い、奈良県（防災航空隊）と奈良県防災ヘリコプター応援協定を締結
	4月	消防局に理事を置く。
		指令課を三部制にし、指令第三係を新設
		世界遺産登録社寺（6社寺）に小型動力ポンプを配備 6台
		第15回救急救命士国家試験合格 3名
12年	4月	消防局に職員課及び職員厚生係を新設し、消防総務部（総務課、職員課）と生活安全部（警防課、救急救助課、予防課、指令課）に改組
		東消防署佐保出張所を北消防署佐保出張所に変更
	5月	第17回救急救命士国家試験合格 1名
11月		第18回救急救命士国家試験合格 1名
13年	4月	4出張所（南部、東部、西大寺、佐保）を分署に名称変更し南部分署に救急隊を配置
		東・中消防署に特別救助隊各1隊配置
		国際消防救助隊に隊員8名が登録
		第4回全国消防音楽隊フェスティバル参加（神戸市）
	5月	第19回救急救命士国家試験合格 1名
11月		高所救助放水車購入
14年	4月	奈良市が中核市に移行
		第21回救急救命士国家試験合格 2名
11月		消防音楽隊が発足15周年記念「市民ふれあいコンサート」を開催
15年	4月	第十代消防長に佐賀勝彦氏就任
		第23回救急救命士国家試験合格 2名 計19名
15年	5月	第24回救急救命士国家試験合格 1名 計20名
16年	4月	第25回救急救命士国家試験合格 1名 計21名
	7月	平成16年7月福井豪雨に伴い、緊急消防援助隊奈良県大隊として奈良市消防局から11名が福井県福井市及び足羽郡美山町（現福井市美山町）へ出動
10月		第26回救急救命士国家試験合格 1名 計22名
		第5回全国消防音楽隊フェスティバル参加（浜松市）
12月		消防職員定数394人
17年	2月	東消防署に高規格救急車を配備

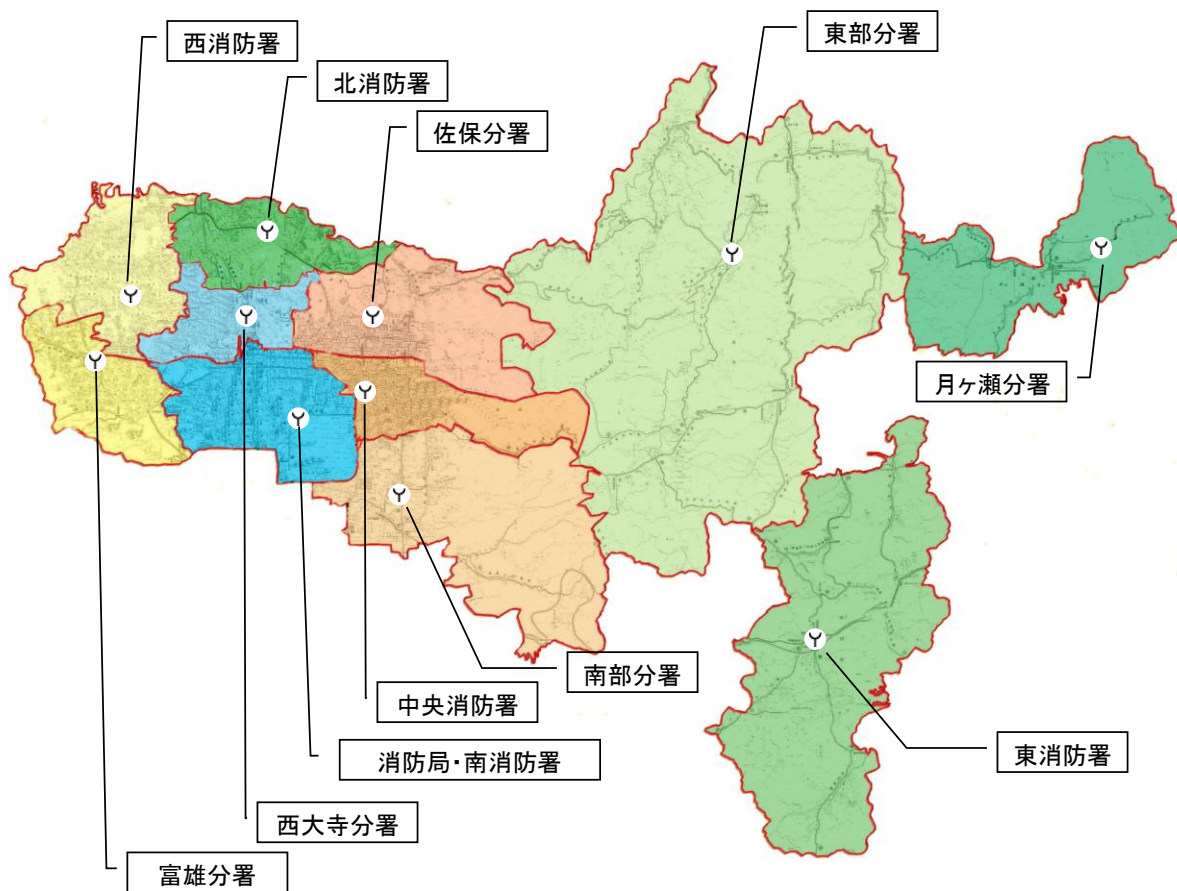
	3月	西消防署に30m級梯子付消防自動車を配備
	4月	奈良市・都祁村・月ヶ瀬村が合併 東消防署を中央消防署に、中消防署を南消防署に変更 山辺広域行政事務組合消防本部より引継いだ都祁消防署を東消防署に、山辺広域行政事務組合消防本部より引継いだ月ヶ瀬分遣所を東消防署月ヶ瀬分署として運用開始 北消防署佐保分署を中央消防署佐保分署に、中消防署西大寺分署を南消防署西大寺分署に変更（消防体制：5消防署5分署1出張所） 第五代消防団長に窪田康男氏就任 第27回救急救命士国家試験合格 1名 計23名
	8月	奈良県遊技業協同組合より指令車（1台）寄贈され、中央消防署に配備
18年	3月	高規格救急車（1台）購入 中央消防署に配備 奈良市消防通信指令システムが更新され運用開始 中央消防署新庁舎（奈良市西木辻町）が完成し運用開始
	4月	専任女性救急隊員2名（隔日勤務）を中央消防署に配置 第28回救急救命士国家試験合格 2名 計25名
	5月	第29回救急救命士国家試験合格 3名 計28名
	6月	奈良県遊技業協同組合より指令車（1台）寄贈され、警防課に配備
19年	4月	第十一代消防長に猪岡秀夫氏就任 第六代消防団長に黒文雄氏就任 専任女性救急隊員1名（隔日勤務）を南消防署に配置
	5月	第30回救急救命士国家試験合格 3名 計31名
20年	4月	消防職員定数394人 部制（消防総務部、生活安全部）を廃止し災害対策室を設置する。 局及び署を担当する次長を置く。 職員課を廃止 総務課においてグループ制を導入 警防課を消防課に名称変更し、消防係と防災係を統合し消防防災係に、機械係を施設係に変更 予防課において予防係と査察係を統合し予防査察係に、建築係と危険物係を統合し指導係に変更 消防署において警防係を消防救急係に、救急救助係を救助係に、分署において警防救急係を消防救急係に、出張所において警防係を消防係に変更 総務省消防庁へ職員1名派遣 奈良市消防音楽隊に副隊長を置く。
	5月	第31回救急救命士国家試験合格 3名 計34名
21年	3月	消防音楽隊に演奏活動用新型バスが配備
	4月	消防職員定数394人 救急救助課を救急課に名称変更し、救急係及び救助係を廃止し、救急管理係、救急指導係を置く。消防課に救助係を置く。 中央消防署及び西消防署に3部制の救急隊を置く。 奈良市消防団に初の女性消防分団（広報指導分団39名）が発足
	5月	第32回救急救命士国家試験合格 3名 計37名
	7月	奈良県遊技業協同組合より救急車（1台）寄贈され、西大寺分署に配備
22年	2月	東消防署月ヶ瀬分署にCDI型消防ポンプ自動車を配備
	3月	南消防署に救助工作車Ⅲ型を配備
	4月	第十二代消防長に野口隆身氏就任 消防職員定数412人 消防局に救急業務及び指令管制業務を統括する情報救急室を新設し、情報救急室（救急課、指令課）と災害対策室（消防課、予防課）に改組

		消防局全課にグループ制（担当制）を導入
		次長（消防局、消防署担当）を廃止し、副局長、消防危機統制監を置く。
		総務省消防庁へ職員１名派遣
		消防課に指揮救助隊を置く。
		南消防署に高度救助隊を配置
		西消防署富雄出張所を西消防署富雄分署に変更し救急隊を配置
		中央消防署及び西消防署の救急隊を２部制に変更
		西消防署富雄分署に高規格救急車を配備
５月		第３３回救急救命士国家試験合格　　４名　計４１名
６月		中央消防署に災害対応特殊救急車を配備
７月		第１６回全国女性消防団員活性化奈良大会を開催
１０月		第６回全国消防音楽隊フェスティバルを開催（全国より２１隊出演）
		市立奈良病院にドクターカーを配備し運用を開始（週３日）
１１月		第２２回全国消防操法大会（愛知県蒲郡市）に奈良市消防団柳生分団が出場
２３年	２月	東消防署東部分署にＣＤＩ型消防ポンプ自動車を配備
		東消防署に救助工作車Ⅰ型を配備
	３月	消防団ＬＩＶＥ２０１１ｉｎ奈良を開催
		東北地方太平洋沖地震が発生し、緊急消防援助隊奈良県隊（第三次隊まで派遣）として奈良市消防局から６２名が宮城県亘理郡山元町へ出動
	４月	消防職員定数４１２人
		消防課指揮救助隊のかいに指揮支援隊を置く。
		消防署組織の係制を廃止し、担当及び小隊制を導入するとともに、複数小隊を管理する中隊長を置く。
		東消防署に高規格救急車を配備
		日本消防協会へ職員１名派遣
		ドクターカーの運用を週３日から週４日に変更
５月		全国共済農業協同組合連合会奈良県本部より高規格救急車（１台）寄贈され西消防署に配備
		第３４回救急救命士国家試験合格　　３名　計４４名
２４年	４月	第十三代消防長に徳岡泰博氏就任
		消防職員定数４１２人
		（財）奈良市防災センターが解散し、総務課のかいに防災センターを置く
		ドクターカーの運用を週４日から週５日に変更
		総務省消防庁へ職員１名派遣
		第３５回救急救命士国家試験合格　　３名　計４６名
５月		消防課に指揮支援車を配備
９月		総務省消防庁より燃料補給車配備（緊急消防援助隊活動用車両として無償使用）
１１月		奈良市消防局、相楽中部消防組合消防本部で初の「合同消防フェア」を開催
２５年	３月	第１回奈良市消防団活性化大会を開催し県下で初めて消防団協力事業所を認定
		総務省消防庁より支援車Ⅰ型配備（緊急消防援助隊活動用車両として無償使用）
	４月	消防職員定数４１２人
		第七代消防団長に川寄政信氏就任
		第３６回救急救命士国家試験合格　　３名　計４９名
		総務省消防庁より可搬型衛星基地局配備（緊急消防援助隊活動用車両として無償使用）
９月		西消防署新庁舎が完成（鶴舞西町）し運用開始
１１月		消防団１２０周年・自治体消防６５周年記念奈良県消防大会
１２月		日本消防協会より防災活動車配備
２６年	３月	総務省消防庁より救助資機材搭載型消防ポンプ自動車及び資機材保管備蓄倉庫一式配備
		第２回奈良市消防団活性化大会を開催
		南消防署に２０ｍ級屈折はしご付消防車を配備

4月	第十四代消防長に酒井孝師氏就任 消防職員定数412人 ドクターカーの運用を週5日から週6日に変更 第37回救急救命士国家試験合格 3名 計58名（新規採用者含む） 総務省消防庁へ職員1名派遣
5月	救急隊による搬送先病院、直接交渉開始
8月	「消防団を中核とした地域防災力充実強化大会」に参加
10月	女性防災クラブ30周年記念式典をならまちセンターで開催
27年 2月	第3回奈良市消防団活性化大会「消防団とDMAT・DPAT合同訓練」を実施
4月	消防職員定数412人 第38回救急救命士国家試験合格 4名 計62名（新規採用者含む）
12月	災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を購入し中央消防署に配備
28年 2月	第4回奈良市消防団活性化大会「消防団とDMAT・DPAT合同訓練」を実施
3月	西消防署に救助工作車Ⅱ型を配備
4月	消防職員定数412人（実員数385人） 消防局組織改編を実施し当直勤務者のシフトを2部制から3部制に変更 奈良市生駒市消防指令センター共同運用開始 総務省消防庁へ職員1名派遣 第39回救急救命士国家試験合格 5名 計65名
10月	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練を奈良県で開催
12月	消防本部における女性消防吏員の活躍推進に向けた積極的広報として「ワンデイインターンシップ京都会場」にブース初出展
29年 2月	第5回奈良市消防団活性化大会「奈良市消防団を中核とした地域防災力強化訓練」を開催 南消防署に高規格救急車を配備
3月	消防庁長官竿頭授受賞 第7回全国消防音楽隊フェスティバル参加（豊中市）
4月	第十五代消防長に藤村正弘氏就任 消防職員定数412人（実員数378人） 第40回救急救命士国家試験合格 3名 計70名（新規採用者含む）
11月	西消防署富雄分署に高規格救急車を配備
30年 2月	第6回奈良市消防団活性化大会「～守ろう我が町、我が地域～」を開催 中央消防署南部分署にCDI型消防ポンプ自動車を配備
4月	消防職員定数412人（実員数374人） 総務省消防庁へ職員1名派遣 第41回救急救命士国家試験合格 3名 計74名（新規採用者含む） 月ヶ瀬分署に救急救命士を配置し5署6分署すべてに救急救命士を配置
7月	平成30年7月豪雨に伴い、緊急消防援助隊奈良県大隊（第三次隊まで派遣）として奈良市消防局から60名が岡山県倉敷市真備町へ出動
11月	全国初の取組みとして「市民メディカルラリー」2018を第7回奈良市消防団活性化大会と併せてイオンモール高の原にて開催
31年 1月	中央消防署に高規格救急車を配備
3月	中央消防署佐保分署にCDI型消防ポンプ自動車を配備
4月	第十六代消防長に西岡光治氏就任 消防職員定数412人（実員数375人） 第八代消防団長に中室貞浩氏就任 第42回救急救命士国家試験合格 3名 計82名（新規採用者含む）

3 消防機関配置図

(1) 局、署所配置図



市 勢

面 積	276.94 km ²		東西 33.51 km	南北 22.22 km
	東 経		135°48′	
	北 緯		34°41′	
人 口	令和元年(平成31年)		平成30年	前年との比較
	男	167,210人	168,225人	△1,015
	女	189,142人	189,930人	△788
	計	356,352人	358,155人	△1,803
世 帯 数	162,380		161,392	988

(人口・世帯数は各年4月1日現在)

(2) 消防施設



消防局・南消防署併設庁舎



中央消防署



西消防署



北消防署



東消防署



防災センター



南消防署西大寺分署



中央消防署南部分署



中央消防署佐保分署



西消防署富雄分署



東消防署東部分署



東消防署月ヶ瀬分署

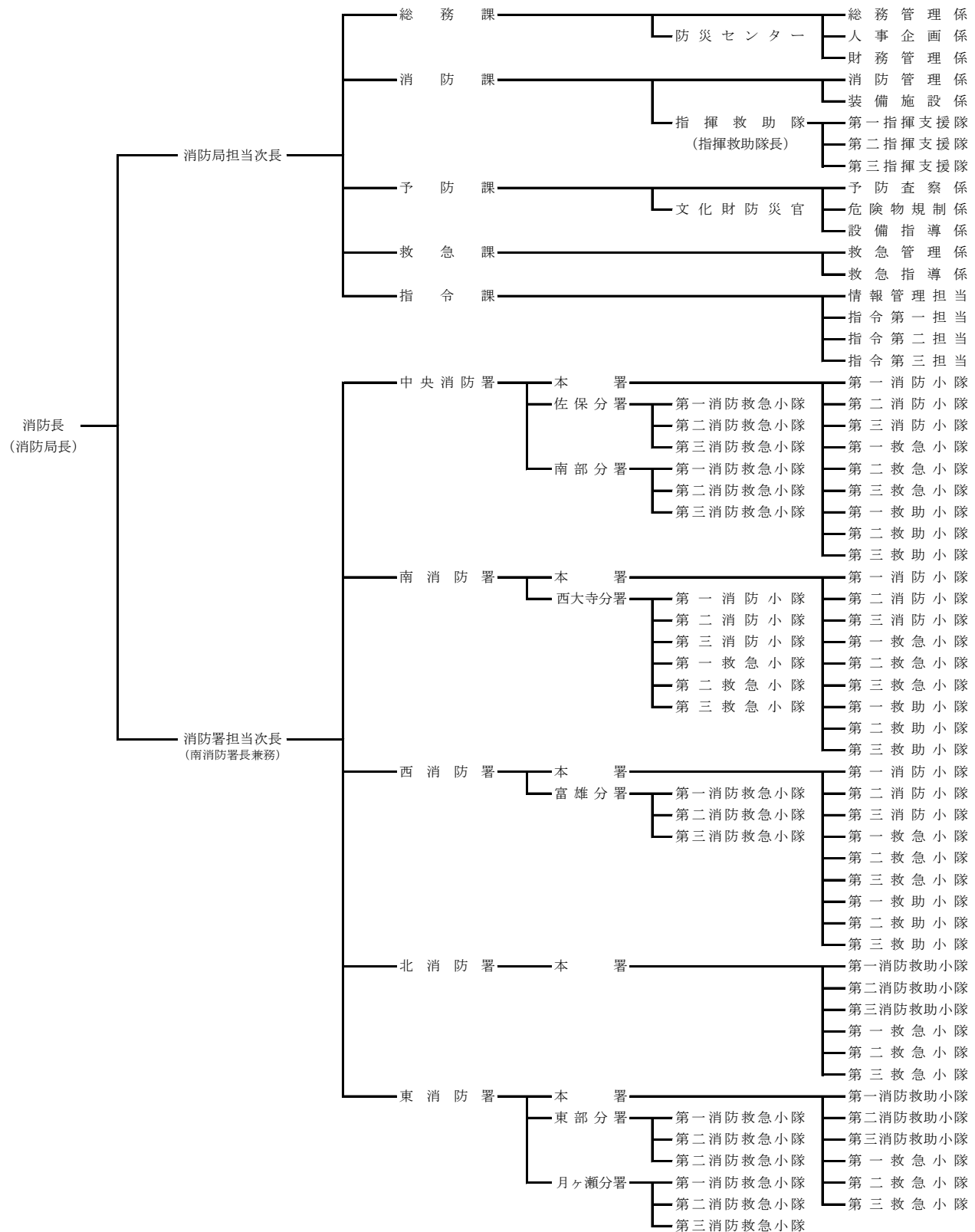
施 設 名	所 在 地	構 造	敷地面積 (㎡)	建物延べ面積 (㎡)	竣工年月日
消防局・南消防署	八条五丁目 404 番地の 1 0742(35)1191(代表)	R C 造 5 階建	6,622.12	2,431.65	昭和 58 年 10 月
南消防署西大寺分署	二条町二丁目 1 番地の 1 0742(33)4605	R C 造 3 階建	454.80	564.33	平成 4 年 1 月
中 央 消 防 署	西木辻町 43 番地の 1 0742(22)7051	R C 造 3 階建	1,333.05	1,405.20	平成 18 年 3 月
中央消防署佐保分署	法蓮町 926 番地の 4 0742(22)7055	R C 造 2 階建	1,471.05	399.75	平成元年 8 月
中央消防署南部分署	横井五丁目 497 番地の 3 0742(61)7025	R C 造 2 階建	1,088.93	500.40	昭和 62 年 4 月
西 消 防 署	鶴舞西町 1 番地の 19 0742(45)7621	R C 造 2 階建	2,144.40	1,185.69	平成 25 年 9 月
西消防署富雄分署	三碓六丁目 10 番地の 40 0742(47)7119	R C 造 2 階建	1,234.99	500.40	昭和 60 年 12 月
北 消 防 署	右京二丁目 1 番地の 1 0742(71)9119	R C 造 2 階建	4,218.19	1,008.87	平成 4 年 3 月
東 消 防 署	針町 647 番地の 1 0743(82)0513	R C 造 2 階建	1,469.95	587.05	昭和 53 年 5 月
東消防署東部分署	大柳生町 1232 番地 0742(93)0119	R C 造 2 階建	1,019.66	492.36	平成 8 年 3 月
東消防署月ヶ瀬分署	月ヶ瀬尾山 3395 番地の 2 0743(92)0945	R C 造 2 階建	559.00	249.09	昭和 57 年 4 月
防 災 セ ン タ ー	八条五丁目 404 番地の 1 0742(35)1106	S R C 造 4 階建	消防局 同一敷地	3,021.37	平成 7 年 6 月

総務関係



「全職員研修会」

4 奈良市消防局の組織



5 事務分掌

消 防 局	総務課		1. 公印の管守に関する事。 2. 文書の収発及び保存整理に関する事。 3. 消防長会に関する事。 4. 消防団に関する事。 5. 局の総合企画及び基本施策に関する事。 6. 消防関係条例、規則、規程等の審査及び制定改廃手続に関する事。 7. 消防統計に関する事。 8. 業務改善及び事務能率の増進に関する事。 9. 消防音楽隊に関する事。 10. 消防広報に関する事。 11. 市民の要望及び相談の処理に係る事務の統轄に関する事。 12. 職員の任免、分限、懲戒その他勤務条件に関する事。 13. 職員の配置及び勤務に関する事。 14. 職員の給与、その他の給付の規定、裁定及び支給に関する事。 15. 表彰に関する事。 16. 研修及び研修計画に関する事。 17. 職員の公務災害補償に関する事。 18. 公務による交通事故の処理及び賠償に関する事（消防課の主管に属するものを除く。）。 19. 職員の福利厚生に関する事。 20. 職員の健康及び安全衛生管理に関する事。 21. 職員の服務規律等に関する事。 22. 庁中管理の統轄に関する事。 23. 消防職員委員会に関する事。 24. 予算の編成及び執行並びに決算事務の総括に関する事。 25. 職員の給貸与品に関する事。 26. 他の課の主管に属しない事。 27. 課の庶務に関する事。
		防災センター	1. 防災センターに関する事。 2. センターの庶務に関する事。
	消防課		1. 災害の警備に関する事。 2. 災害対策の連絡及び調整に関する事。 3. 非常警防体制及び特別警戒体制の実施に関する事。 4. 消防相互応援協定に関する事。 5. 地域防災計画及び水防計画に関する事。 6. 都市計画法（昭和43年法律第100号）に基づく開発行為に係る同意に関する事。 7. 消防水利の開発及び保全に関する事。 8. 水防資器材の整備保全に関する事。 9. 防災総合訓練等に関する事。 10. 消防車両等の配置計画に関する事。 11. 消防機械器具の整備及び整備技術の指導に関する事。 12. 特殊な消防機械器具の操作技術の指導に関する事。 13. 消防車両等の燃料に関する事。 14. 消防車両等の登録及び検査等に関する事。 15. 車両管理の総括に関する事。 16. 公務による交通事故の物損処理に関する事。 17. 課の庶務に関する事。
		指揮救助隊	1. 救助対策及び救助活動に関する事。 2. 救助隊の教育訓練及び救助技術に関する事。 3. 救助機械器具の整備保全及び操作技術の指導に関する事。 4. 救助統計に関する事。 5. 救助の警備計画に関する事。 6. 指揮支援隊に関する事。 7. 緊急消防援助隊に関する事。 8. 国際消防救助隊に関する事。 9. 隊の庶務に関する事。
		指揮支援隊	1. 災害現場の指揮支援に関する事。 2. 災害現場の安全管理及び現場指揮体制の調査研究に関する事。 3. 災害現場の情報収集及び現場広報に関する事。 4. 災害の警戒及び防除に関する事。 5. 消防活動技術の研究に関する事。 6. 火災防御検討会に関する事。 7. 警防計画及び訓練に関する事。

消 防 局	予 防 課	1. 火災予防施策の計画立案に関すること。 2. 火災予防の対策及び広報に関すること。 3. 防火管理者資格講習及び指導に関すること。 4. 火災原因及び損害の調査に関すること。 5. 火災警報の発令に関すること。 6. 予防統計に関すること。 7. 女性防災クラブに関すること。 8. 住宅防火に関すること。 9. 住宅用火災警報器の普及促進に関すること。 10. 危険物の許可、認可及び規制に関すること。 11. 指定可燃物その他特殊な物質の防火に関すること。 12. 危険物取扱者等及び危険物施設の管理者の指導に関すること。 13. 液化石油ガスその他の高圧ガスの防火指導に関すること。 14. 危険物の災害予防対策及び調査研究に関すること。 15. 建築物の確認、許可及び認可の同意に関すること。 16. 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。 17. 建築物の防火に関すること。 18. 防火対象物の使用届出等に関すること。 19. 防災規制の指導に関すること。 20. 予防査察の計画、実施及び指導に関すること。 21. 防火対象物の違反処理に関すること。 22. 課の庶務に関すること。
	救 急 課	1. 救急業務の基本計画に関すること。 2. 救急隊の運用に関すること。 3. 救急情報の収集及び救急統計に関すること。 4. 救急医療関係機関等との連絡及び調整に関すること。 5. 救急隊員の感染防止対策及び健康管理に関すること。 6. 救急資機材の配置及び開発に関すること。 7. 救急業務の需要に係る対策に関すること。 8. 救急救命士及び救急隊の教育訓練に関すること。 9. 救急医療及び救急技術の調査研究に関すること。 10. 応急手当の普及啓発活動に関すること。 11. 患者搬送事業に関すること。 12. メディカルコントロール体制（医療機関等との連携により救急業務の質的向上を図る体制をいう。）に関すること。 13. 救急業務の高度化推進に関すること。 14. 救急ワークステーション設置準備に関すること。 15. ドクターカー運用に関すること。 16. 課の庶務に関すること。
	指 令 課	1. 電子計算機器及び入出力媒体の管理に関すること。 2. 電子計算機器処理に係る情報の管理に関すること。 3. 端末機の操作研修及びパスワードの管理に関すること。 4. その他電子計算機器の運用に関すること。 5. 水火災、救急その他の災害の受報及び出動指令に関すること。 6. 通信施設及び器具の運用管理に関すること。 7. 消防隊等の出動の統制的運用に関すること。 8. 水火災、救急その他の災害の現場の通信統制に関すること。 9. 水火災、救急その他の災害の現場の情報収集及び連絡に関すること。 10. 職員の非常招集に関すること。 11. 医療機関等との連絡及び協調に関すること。 12. 通信施設の技術研究及び指導に関すること。 13. 防災気象の通信連絡に関すること。 14. 課の庶務に関すること。

消 防 署	小隊共通		1. 火災予防の対策及び広報に関すること。 2. 査察に関すること。 3. 防火対象物の設備及び防火管理者の指導に関すること。 4. 消防用設備等の設置の指導及び点検結果報告に関すること。 5. 予防統計に関すること。 6. 火災その他の災害の調査に関すること。 7. 火災原因及び損害の調査に関すること。 8. 署の事務の企画調整に関すること。 9. 公務による交通事故の処理に関すること。 10. 署の庶務に関すること。 11. 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関すること。
	消防小隊 (中央・南・西署)	消防救助小隊 (北・東消防署)	1. 警防計画及び訓練に関すること。 2. 火災その他の災害の警戒及び防御に関すること。 3. 消防地水利の開発、調査及び保全に関すること。 4. 消防の機械器具の整備及び保全に関すること。 5. 防火指導に関すること。 6. 所轄に係る消防団の連絡及び協力等に関すること。 7. 自衛消防隊の訓練の指導に関すること。 8. 消防相談に関すること。 9. 職員の非常招集に関すること。 10. 署所の軽微な庁中管理に関すること。
	救助小隊 (中央・南・西署)		1. 災害現場の安全管理に関すること。 2. 救助訓練に関すること。 3. 人命の救助及び防火に関すること。 4. 救助の機械器具の整備保全に関すること。 5. 救助の報告に関すること。 6. 緊急消防援助隊の出動に関すること。 7. 国際消防救助隊の派遣に関すること。 8. 署所の軽微な庁中管理に関すること。 9. 救助技術に関すること。 10. 防火指導に関すること。
	救急小隊 (全署)		1. 救急の機械器具の整備及び保全に関すること。 2. 救急対策及び救急処置に関すること。 3. 救急の報告に関すること。 4. 救急統計に関すること。

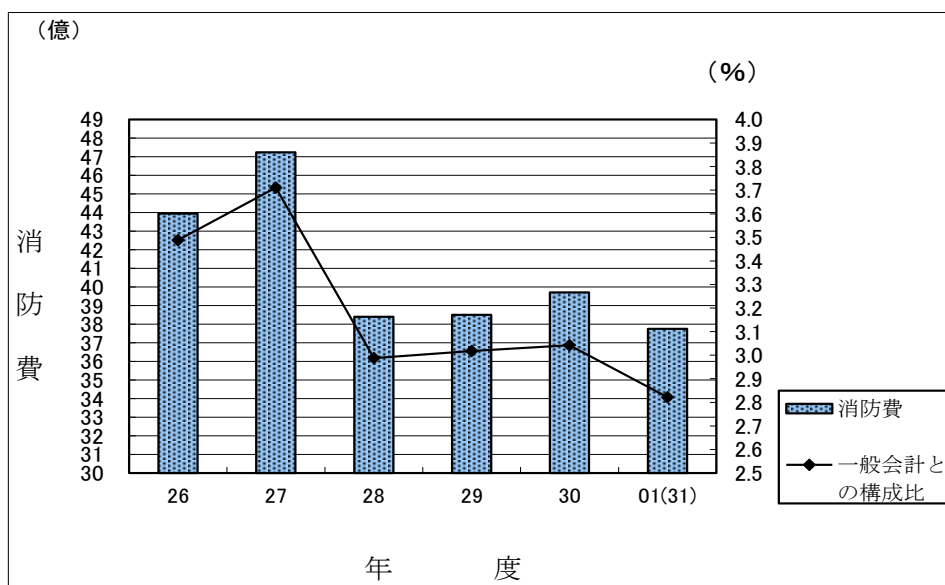
分 署	西大寺分署	消防小隊	1. 文書の収発及び保管整理に関する事。 2. 警備計画及び訓練に関する事。 3. 火災その他の災害の警戒及び防御に関する事。 4. 消防水利の調査及び保全に関する事。 5. 査察及びその他の防火指導に関する事。 6. 消防の機械器具の整備及び保全に関する事。 7. 所轄に係る消防団の連絡及び協力等に関する事。 8. 自衛消防隊の訓練及び指導に関する事。 9. 火災その他の災害の調査に関する事。 10. 消防相談に関する事。 11. 署所の軽微な庁中管理に関する事。 12. 火災原因及び損害の調査に関する事。 13. 公務による交通事故の物損処理に関する事。 14. 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関する事。 15. その他管内の消防及び救急業務に関する事。
		救急小隊	1. 文書の収発及び保管整理に関する事。 2. 救急対策及び救急処置に関する事。 3. 救急の機械器具の整備及び保全に関する事。 4. 火災その他の災害の調査に関する事。 5. 消防相談に関する事。 6. 署所の軽微な庁中管理に関する事。 7. 公務による交通事故の物損処理に関する事。 8. 救急統計に関する事。 9. その他管内の救急業務に関する事。
	西大寺分署以外	消防救急小隊	1. 文書の収発及び保管整理に関する事。 2. 警備計画及び訓練に関する事。 3. 火災その他の災害の警戒及び防御に関する事。 4. 消防水利の調査及び保全に関する事。 5. 査察及びその他の防火指導に関する事。 6. 救急対策及び救急処置に関する事。 7. 救急及び消防機械器具の整備保全に関する事。 8. 所轄に係る消防団の連絡及び協力等に関する事。 9. 自衛消防隊の訓練及び指導に関する事。 10. 火災その他の災害の調査に関する事。 11. 消防相談に関する事。 12. 署所の軽微な庁中管理に関する事。 13. 火災原因及び損害の調査に関する事。 14. 公務による交通事故の物損処理に関する事。 15. 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関する事。 16. 救急統計に関する事。 17. その他管内の消防及び救急業務に関する事。

6 消防予算

(1) 一般会計予算額と消防費との比較

年度 \ 区分	一 般 会 計 (千円)	消 防 費 (千円)	構 成 比 (%)
平成 2 6 年度	126,000,000	4,394,717	3.49
平成 2 7 年度	127,300,000	4,723,511	3.71
平成 2 8 年度	128,496,754	3,839,467	2.99
平成 2 9 年度	127,561,997	3,849,752	3.02
平成 3 0 年度	130,526,400	3,970,159	3.04
令和元年度	133,790,000	3,775,472	2.82

(2) 消防費予算の一般会計に対する比率の推移



(3) 消防予算の内訳及び前年度との比較（当初予算）

年度 科目		令和元年度 (千円)	平成30年度 (千円)	比較増減 (千円)
一般会計		133,790,000	130,526,400	3,263,600
消防費		3,775,472	3,970,159	△194,687
内訳	常備消防費	3,536,088	3,646,569	△110,481
	非常備消防費	145,743	144,713	1,030
	水防費	96	96	—
	消防施設維持費	4,772	4,781	△9
	消防施設費	88,773	174,000	△85,227

(4) 消防費に対する人口・世帯当たり額

年度 区分	消防費 (千円)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	1人当たり (円)	1世帯当たり (円)
平成26年度	4,394,717	364,326	157,276	12,063	27,943
平成27年度	4,723,511	363,051	158,268	13,011	29,845
平成28年度	3,839,467	361,423	159,297	10,623	24,103
平成29年度	3,849,752	359,666	160,242	10,704	24,025
平成30年度	3,970,159	358,155	161,392	11,085	24,599
令和元年度	3,775,472	356,352	162,380	10,595	23,251

(人口及び世帯数は各年度の4月1日現在)

(5) 消防費性質別予算額

(千円)

年度 科目	令和元年度		平成30年度		増減	
	額(A)	割合(%)	額(B)	割合(%)	(A)－(B) (C)	増減比 (%)
消防費	3,775,472	100.0	3,970,159	100.0	△194,687	△4.9
人件費	3,212,563	85.0	3,295,016	83.0	△82,453	△2.5
維持補修費	4,772	0.1	4,781	0.1	△9	△0.2
物件費	395,771	10.5	424,711	10.7	△28,940	△6.8
補助費等	73,593	2.0	71,651	1.8	1,942	2.7
普通建設事業費	88,773	2.4	174,000	4.4	△85,227	△49.0

7 職員の階級別配置状況

(平成31年4月1日現在)

区 分 所 属 等			合 計	消 防 局 長	次 長	課 長 消防官主幹 副署長	補 佐 主 査 中隊長	係 長 小隊長 副小隊長	係 員			
				消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
合 計			375	1	2	20	47	130	122	1	52	
局	局 長		1	1								
	次 長		2		2							
	総 務 課		27			2	3	4	4		14	
	消 防 課		12			3	3	5	1			
	予 防 課		9			2	1	3	3			
	文化財防災官		(1)			(1)						
	救 急 課		6			1	1	2	2			
	指 令 課		17			4	4	3	5		1	
	小 計		74	1	2	12	12	17	15		15	
署	中央消防署	本 署	86	42			2	7	15	12	6	
		佐 保 分 署		22			1	9	11	1		
		南 部 分 署		22			1	9	10	2		
	南 消 防 署	本 署	63 (64)	41 (42)		(1)	1	7	15	10	8	
		西 大 寺 分 署		22			1	9	10	2		
	西 消 防 署	本 署	64	42			2	7	14	13	6	
		富 雄 分 署		22			1	9	7	5		
	北 消 防 署		26	26			1	4	9	8	4	
	東 消 防 署	本 署	62	27			2	4	9	10	1	1
		東 部 分 署		22			1	9	10	2		
		月ヶ瀬分署		13			1	6	6			
	小 計		301			8	35	113	107	1	37	
条 例 定 数			412									

(注) 市長部局へ1名出向(定数外)、市長部局からの出向1名含、南消防署長及び文化財防災官は事務取扱

8 職員の階級別勤続年数調べ

(平成31年4月1日現在)

階級別 年数別	計	消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監
計	375	52	1	122	130	47	20	2	1
1年	17	16					1		
2年	5	5							
3年	5	5							
4年	2	2							
5年	3	3							
6年	15	15							
7年	12	4		8					
8年	14	1		12	1				
9年	10	1		9					
10年	13			13					
11年	13			13					
12年	19			19					
13年	8			8					
14年	9			9					
15年	17			6	11				
16年	5			1	4				
17年	5			1	4				
18年									
19年									
20年	2				2				
21年									
22年									
23年	17			5	12				
24年									
25年	25			4	21				
26年	17			5	10	2			
27年	23			2	17	4			
28年	17		1		13	3			
29年	12			1	6	5			
30年	11			1	5	4	1		
31年	1				1				
32年	13			2	6	4	1		
33年									
34年	17				7	7	3		
35年	9			1	2	3	3		
36年	10				4	3	3		
37年	16			2	1	6	7		
38年	5					3	1	1	
39年	7				3	2		1	1
40年									
41年	1					1			
42年									
43年									
44年									
45年									
46年									
47年									
48年以上									

(注) 市長部局へ1名出向(定数外)、市長部局からの出向1名含(消防司令長)

9 職員の階級別年令調べ

(平成31年4月1日現在)

階級別 年令別	計	消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監
計	375	52	1	122	130	47	20	2	1
18歳	3	3							
19歳	1	1							
20歳	3	3							
21歳	1	1							
22歳	3	3							
23歳	4	4							
24歳	7	7							
25歳	3	3							
26歳	7	7							
27歳	6	5		1					
28歳	10	4		6					
29歳	11	5		6					
30歳	9	1		8					
31歳	12	5		7					
32歳	16			15	1				
33歳	10			10					
34歳	14			13	1				
35歳	10			9	1				
36歳	11			10	1				
37歳	6			4	2				
38歳	9			7	2				
39歳	5			2	3				
40歳	7			2	5				
41歳	6			1	5				
42歳	15			5	10				
43歳	8			2	6				
44歳	23			2	19	2			
45歳	15				14	1			
46歳	21		1	3	11	6			
47歳	18			2	10	6			
48歳	14			1	11	2			
49歳	6			1	4	1			
50歳	7			1	4	2			
51歳	12				5	5	2		
52歳	1					1			
53歳	8			1	4	2	1		
54歳	5			1		3	1		
55歳	6			1	1	2	2		
56歳	15				5	4	5	1	
57歳	9			1	2	4	2		
58歳	10				1	5	4		1
59歳	7				2	1	3	1	
60歳	0								
61歳	0								
62歳	0								
63歳	0								
64歳	0								
65歳以上	0								

(注) 市長部局へ1名出向(定数外)、市長部局からの出向1名含、南消防署長及び文化財防災官は事務取扱

10 職員の研修状況

(平成30年度中)

区	分	研 修 科 目	回 数	延人数
派遣研修	県消防学校	初任教育	1	5
		救急科（標準課程）	1	5
		救助科	1	3
		予防査察科	1	2
		幹部教育初級幹部科	1	3
		特別教育無線通信教育（第1期） 第2級陸上特殊無線技士養成課程	1	8
	消防大学校	救助科	1	1
		女性活躍推進コース	1	1
		緊急消防援助隊教育科（NBCコース）	1	1
	救急救命士養成課程	救急救命九州研修所	1	1
		大阪市消防局高度専門教育訓練センター	1	1
		京都市消防学校教養課救急教育訓練センター	1	1
	指導救命士養成研修	救急救命九州研修所	1	1
	県消防長会	消防長会研修	1	20
	その他	大阪市消防局火災調査実務研修	1	1
		京都市消防局火災調査実務研修	1	1
		公務災害補償等初任者研修会	1	1
		潜水土免許準備講習会	1	3
		高所作業車運転技能講習	2	6
		国際文化研修所 消防職員コース ～非常時における外国人とのコミュニケーション	1	1
一般研修	局	全職員研修会	2	152
特別研修	局	消防車両・積載器具に関する研修	1	24
		火災原因調査	1	34
		救急業務に関する研修	3	23
		「ハラスメント対策」について	1	23
		消防職向け手話講習会	1	29
		情報公開制度と個人情報保護	1	29
職場研修	署	服務	3	24
		法規	7	36
		情報	1	2
		消防広報	1	1
		災害対策	35	245
		安全管理	4	25
		予防	52	253
		火災原因調査	41	132
		危険物	3	10
		査察	41	126
		警防	46	161
		消防機械器具	37	162
		救急	184	650
		救助	138	571
		庶務	10	60
		その他	113	334

11 奈良市消防音楽隊の概要

消防音楽隊は、「消防行政のPR」と「防火思想の普及」のため、消防の諸行事、市のイベント等で演奏を行っています。又、広く市民と交流を図るために各種団体等からの演奏依頼にも積極的に参加し、火災予防と市民の安全を願いつつ活動を続けています。

(1) 音楽隊員の配置状況

(平成31年4月1日現在)

階級別 所属別		計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
消防局	計	25	0	3	1	11	7	0	3
	総務課	5		1	1	1	2		
	消防課	2				2			
	予防課	4				3	1		
	救急課	1					1		
	指令課	0							
消防署	中央署	3				2	1		
	南署	3		1		1			1
	西署	4		1		1	1		1
	北署	2					1		1
	東署	1				1			

※ 消防署については分署を含めた総数

(2) 音楽隊の編成状況

隊長	1名	
副隊長	1名	
楽長	1名	
副楽長	1名	
隊員	21名	計 25名



(楽器保有数)

(平成31年4月1日現在)

品 名	数	品 名	数
ピ ッ コ ロ	2	マーチングユーフォニウム	1
フ ル ー ト	2	チ ュ ー バ	2
ク ラ リ ネ ッ ト	6	ス ー ザ フ ォ ン	2
ア ル ト サ ッ ク ス	2	ス ネ ア ド ラ ム	3
テ ナ ー サ ッ ク ス	2	バ ス ド ラ ム	2
ト ラ ン ペ ッ ト	7	ク オ ー ド	1
コ ル ネ ッ ト	2	ド ラ ム セ ッ ト	1式
フ レ ン チ ホ ル ン	2	グ ロ ッ ケ ン	2
マ ー チ ン グ ホ ル ン	2	シ ン バ ル	1
テ ナ ー ト ロ ン ボ ー ン	4	シ ン セ サ イ ザ ー	1
バ ス ト ロ ン ボ ー ン	1	コ ン ガ	1
ユ ー フ ォ ニ ュ ー ム	2	ボ ン ゴ	1

(階級、年齢別)

(平成31年4月1日現在)

階級別 年齢別	計	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
計	25	0	3	1	11	7	0	3
20才～24才	0							
25才～29才	1							1
30才～34才	4				0	2		2
35才～39才	7				2	5		
40才以上	13	0	3	1	9			

(3) 音楽隊の活動状況

派 遣 演 奏 等					
	合 計	音楽隊 自主事業	消防関係	市関係	その他
回 数	7 回	6 回	1 回	0 回	0 回

(平成30年度中)



「大安寺西小学校訪問演奏会」

防災センター関係



「ぼくもわたしもレスキューチャレンジ」

12 奈良市防災センター

奈良市防災センターは、国土庁(当時)の防災基地建設モデル事業として全国で10番目に国の補助を受け、平成5年9月から平成7年6月までの3ヵ年の継続事業として建設しました。

災害時には、情報処理の迅速かつ適正な運用や応急救護、住民の避難場所として活用し、また平常時には、防災PR活動や防災教育を行う拠点とする防災基地として、平成7年8月1日に運用を開始して以来、多数の来館者を迎え皆様に親しまれています。

(1) 防災センター

ア 組 織

所長(総務課主幹兼務)—— 臨時職員(9名)

イ 事業概要

奈良市防災センターの管理運営及び防災に関する知識と技術の普及事業を行うことにより、市民の防災意識の高揚を図る。

(2) 概 要

ア 施 設

所在地 奈良市八条五丁目404番地の1

開 館 平成7年8月1日

敷地面積 6,622.12㎡(奈良市消防局・南消防署併設庁舎と同一敷地内)

延床面積 3,021.37㎡ 構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造

1 階 消火体験、煙避難体験、台風体験、地震体験、119番通報体験、ビル火災と避難方法、奈良市の防災体制、緊急地震速報展示装置、火災とその対処法、防災Q&A、防災センター事務室

2 階 研修室、視聴覚室、救急措置訓練室、図書室

3 階 消防局指令課、奈良市・生駒市消防指令センター、災害対策作戦室、コンピュータ室

4 階 多目的ホール、備蓄倉庫、無線機械室

イ 開館時間 午前9時30分から午後4時30分

ウ 休 館 日 月曜日(その日が国民の祝日に当たるときは、開館しその翌日が休館)

休日の翌日(その日が、土・日曜日及び休日にあたる場合は開館)

年末年始 12月28日から翌年1月4日まで

エ 入 館 料 無 料



「なっぴい煙避難体験」

(3) 入館状況

(平成30年度中)

区分 月	団体		個人(注 1)			普通救命講習				合計 人数
						団体申込		定期講習(注 2)		
	団体数	人数	大人	小人	小計	団体数	人数	回数	人数	
4	11	198	581	89	670	3	20	2	16	904
5	14	364	794	114	908	3	46	3	23	1341
6	31	601	992	92	1084	7	88	2	11	1784
7	22	352	730	221	951	10	119	3	29	1451
8	38	451	877	329	1206	1	12	2	19	1688
9	33	920	781	203	984	9	208	3	27	2139
10	39	2005	1091	180	1271	3	74	2	8	3358
11	42	1301	668	118	786	1	14	3	24	2125
12	16	424	532	80	612	0	0	2	27	1063
1	11	368	380	83	463	1	12	3	30	873
2	31	834	814	63	877	3	25	2	21	1757
3	18	419	863	166	1029	0	0	3	42	1490
合計	306	8237	9103	1738	10841	41	618	30	277	19973

(注1) 中学生以上は大人、小学生以下は小人として計上

(注2) 定期講習とは毎月2回実施している普通救命講習Ⅰ(主に成人を対象とした講習)と2ヶ月に1回実施している普通救命講習Ⅲ(主に乳幼児を対象とした講習)でいずれも個人申込によるもの

(4) 施設利用状況

(平成30年度中)

区分 月	研修室		視聴覚室		救急処置訓練室		図書室	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	5	166	7	182	7	60	2	30
5	12	503	12	228	8	248	5	66
6	13	591	24	437	12	137	2	11
7	6	252	26	358	13	150	3	14
8	11	302	20	392	4	63	4	24
9	13	412	31	879	11	199	6	45
10	12	675	41	2182	10	543	5	47
11	11	170	30	680	11	154	6	57
12	8	189	19	368	4	38	6	92
1	1	16	14	387	4	42	2	6
2	13	376	23	635	8	126	3	18
3	5	395	20	348	4	191	5	22
合計	110	4047	267	7076	96	1951	49	432

警 防 関 係



「緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練」

13 消防車両等の配備状況

(平成31年4月1日現在)

署 所 区 分	計	消 防 局	中 央 消 防 署			南 消 防 署		西 消 防 署		北 消 防 署	東 消 防 署		
			本 署	佐 保 分 署	南 部 分 署	本 署	西 大 寺 分 署	本 署	富 雄 分 署		本 署	東 部 分 署	月 ヶ 瀬 分 署
計	117	20	17	6	5	17	4	11	4	10	12	6	5
ポ ン プ 車	13		1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1
水槽付ポンプ車	5				1			1		1	1	1	
化 学 車	2		1			1							
30m 梯子車	1							1					
35m 梯子車	2		1							1			
25m 屈折梯子車	1					1							
高所救助放水車	1					1							
I 型救助工作車	2									1	1		
II 型救助工作車	2		1					1					
III 型救助工作車	1					1							
電 源 車	1		1										
普通型(2B型)救急車	0												
高規格救急車	14	1	2		1	2	1	2	1	1	1	1	1
災害対応特殊救急車	2			1							1		
指 令 車	9	6	1					1			1		
広 報 車	5	3				1				1			
査 察 車	10	1	1			1	1		1	1	2	1	1
バ ス	1	1											
楽 器 搬 送 車	1	1											
搬 送 車	4	1	1		1			1					
支 援 車	2	2											
輸 送 車	1					1							
連 絡 車	2	1									1		
燃 料 補 給 車	1	1											
予 防 啓 発 車	1	1											
軽四輪積載車	1			1									
原動機付自転車	16		2	1	1	3	1	2	1	1	2	1	1
小型動力ポンプ	16	1	5	2		3		1		1	1	1	1

(注) 中央消防署・南消防署・佐保分署の小型動力ポンプは、管轄内の社寺及びならまち分を含む。

14 消防水利状況

(平成31年4月1日現在)

(1) 消火栓

区分 署別	合 計	公 設	私 設	その他（簡水）
合 計	5, 8 4 9	5, 0 6 0	3 3 6	4 5 3
中央消防署	1, 8 5 7	1, 6 0 6	2 0 1	5 0
南 消 防 署	1, 3 1 6	1, 2 4 3	7 3	0
西 消 防 署	1, 4 8 4	1, 4 5 3	3 1	0
北 消 防 署	5 2 4	4 9 3	3 1	0
東 消 防 署	6 6 8	2 6 5	0	4 0 3

(2) 防火水槽

区分 署別	公 設				私 設			
	有 蓋		無 蓋		有 蓋		無 蓋	
	40t 以上 100t 未満	100t 以上	40t 以上 100t 未満	100t 以上	40t 以上 100t 未満	100t 以上	40t 以上 100t 未満	100t 以上
合 計	5 1 4	4 1	1 3 5	0	6 7 5	4 1	3 4	9
中央消防署	1 2 3	1 3	1 2	0	2 0 6	1 6	6	2
南 消 防 署	5 8	6	0	0	1 5 7	1 1	2	4
西 消 防 署	1 2 1	1 1	0	0	1 8 6	1 2	1	1
北 消 防 署	3 3	6	1	0	5 9	0	0	1
東 消 防 署	1 7 9	5	1 2 2	0	6 7	2	2 5	1

(3) その他の水利

区分 署別	た め 池	プ ー ル	河 川
合 計	1 9 9	9 8	2 7
中 央 消 防 署	4 2	3 2	7
南 消 防 署	3 8	1 5	6
西 消 防 署	2 2	2 2	2
北 消 防 署	2 2	1 1	0
東 消 防 署	7 5	1 8	1 2

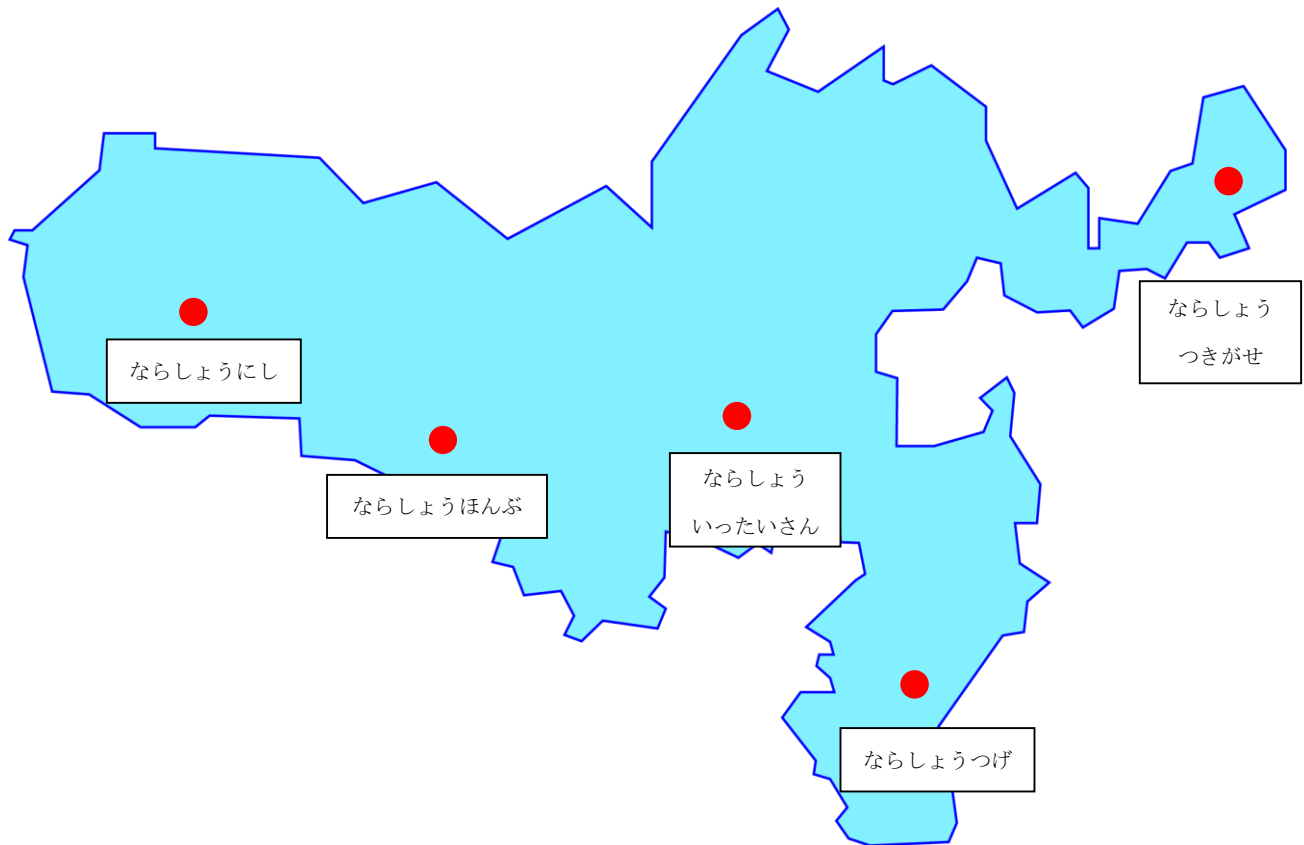
通 信 関 係



「奈良市・生駒市消防指令センター」

15 通信施設

(1) 基地局



基地局（デジタル）		消防局	一体山 前進基地局	都祁 前進基地局	西消防署 前進基地局	月ヶ瀬 前進基地局
呼出名称		ならしょう ほんぶ	ならしょう いったいさん	ならしょう つげ	ならしょう にし	ならしょう つきがせ
出 力		10W	5W	10W	10W	10W
実装 周波 数名 称	活動波 1	○	○			
	活動波 2	○	○	○	○	○
	活動波 3	○	○	○	○	
	活動波 4	○				
	主運用波	○	○	○		
	統制波 1	○	○	○		
	統制波 2	○	○	○		
	統制波 3	○	○	○		

(2) 無線電話の現状

(平成31年4月1日現在)

区分 局別			実装周波数名称	出 力	総 数	消 防 局	中央消防署	南消防署	西消防署	北消防署	東消防署
消防救急無線	デジタル無線機	車載無線機	活動波 1 活動波 2 活動波 3 活動波 4 主運用波 統制波 1 統制波 2 統制波 3	10W	86	21	17	14	11	8	15
		可搬型無線機		10W	8	3	1	1	1	1	1
		携帯無線機		5W	64	12	14	11	10	6	11
	アナログ無線機	可搬型無線機	防災相互波	10W	2	2					
		携帯無線機		5W	17	5	3	3	2	1	3
		携帯無線機 (署活動系)	署活系(1ch～4ch) 防災相互波 県内共通波	1W	167	26	38	30	28	16	29
	市防災行政無線			1W	1	1					
救急車積載携帯電話			0.8W	16	1	4	3	3	1	4	
画像伝送装置				16	2	4	3	3	1	3	
位置管理用通信機				60	9	13	11	9	7	11	

(3) 有線電話

(平成31年4月1日現在)

局別 \ 区分	計	消防局	中央消防署	南消防署	西消防署	北消防署	東消防署
火災専用電話（固定電話・IP電話等） 119番	12	12					
非常用119番	10	10					
携帯119番	4	4					
携帯119番転送回線	6	6					
一般加入電話	34	6（一般） 4（着信専用） 3（単独） 3（発信専用）	5	3	4	2	4
内 線	186	79	32	22	19	13	21
テレガイド	14	14					
警察電話	1	1					
110番転送	1	1					
大阪ガス直通	1	1					
市役所直通	1	1					
企業局直通（緑ヶ丘浄水場）	2	2					
第二阪奈道路ホットライン	1	1					
阪神高速	1	1					
近鉄生駒駅	1	1					

(4)119番着信件数

(平成30年中)

区分 月	緊急性を要する通報							緊急性を要しない通報										
	総 数	火 災	救 急	救 助	警 戒	水 防	調 査	病院 問 合 せ	問 合 せ	相 談	苦 情	感 謝	間 違 い	いた ず ら	回 線 テ ス ト	自 動 通 報 試 験	訓 練 通 報	そ の 他
総 数	30,150	143	19,707	190	248	0	2	1,704	2,987	253	17	24	1,154	356	374	460	579	1,952
1	2,831	8	1,873	15	17			235	309	25		1	77	23	52	33	29	134
2	2,382	20	1,589	14	21			146	207	37		2	92	35	28	35	31	125
3	2,395	28	1,569	14	13			127	221	27	2	3	119	28	31	32	61	120
4	2,238	9	1,458	14	13			134	215	18	1		73	38	28	42	39	156
5	2,352	3	1,530	17	10			145	217	21	2	2	117	29	28	45	50	136
6	2,382	10	1,531	20	10			101	244	19	1	1	101	23	34	40	61	186
7	2,963	12	1,903	14	43		1	145	310	22	2	3	105	75	21	41	28	238
8	2,584	17	1,738	16	27			163	254	16	1	1	89	19	34	31	17	161
9	2,318	13	1,426	22	35			132	275	26	2	2	80	22	21	34	48	180
10	2,601	4	1,729	8	18			120	240	13	4	8	104	28	33	39	59	194
11	2,444	16	1,596	17	15		1	105	224	15	1		104	17	39	54	95	145
12	2,660	3	1,765	19	26			151	271	14	1	1	93	19	25	34	61	177

備考 警察電話、加入電話、医師搬送等は含まず

(5) 119番通報種別割合

(平成30年中)

区分 月	総数	NTT 固定		携 帯		I P		その他		携帯＋IP	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
合計	30,150	6,895	22.9	13,351	44.3	9,231	30.6	673	2.2	22,582	74.9
1	2,831	711	25.1	1,137	40.2	930	32.9	53	1.9	2,067	73.0
2	2,382	567	23.8	1,016	42.7	745	31.3	54	2.3	1,761	73.9
3	2,395	605	25.3	1,027	42.9	721	30.1	42	1.8	1,748	73.0
4	2,238	603	26.9	886	39.6	710	31.7	39	1.7	1,596	71.3
5	2,352	559	23.8	1,028	43.7	721	30.7	44	1.9	1,749	74.4
6	2,382	543	22.8	1,064	44.7	712	29.9	63	2.6	1,776	74.6
7	2,963	632	21.3	1,425	48.1	853	28.8	53	1.8	2,278	76.9
8	2,584	523	20.2	1,220	47.2	779	30.1	62	2.4	1,999	77.4
9	2,318	457	19.7	1,119	48.3	683	29.5	59	2.5	1,802	77.7
10	2,601	558	21.5	1,225	47.1	758	29.1	60	2.3	1,983	76.2
11	2,444	574	23.5	1,036	42.4	764	31.3	70	2.9	1,800	73.6
12	2,660	563	21.2	1,168	43.9	855	32.1	74	2.8	2,023	76.1

(6) テレフォンガイド利用数

(平成30年中)

計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
18,189	1,242	1,862	2,722	1,375	749	1,526	1,656	1,592	1,345	976	1,939	1,205

(7) 月別気象状況（消防局）

（平成30年中）

区分 月	気温（℃）			湿度（％）			風速（m/s）			降水量（mm）			気圧（hpa）		
	月 平 均	最 高	最 低	月 平 均	最 高	最 低	月 平 均	最 大	風 向	月 合 計 値	日 最 大	降 水 日 数	月 平 均	最 高	最 低
1	3.7	15.7	-3.3	72.4	99.4	25	2.8	24.0	西南西	54.0	19.0	6.0	1010.4	1024.8	992.2
2	4.2	16.5	-3.8	64.0	98.8	13	2.7	18.3	西南西	19.5	16.0	5.0	1011.6	1020.6	992.2
3	10.6	23.9	-0.6	64.4	98.6	14.9	2.8	25.7	北	108.5	28.0	9.0	1010.3	1024.1	981.7
4	16.2	28.9	3.1	63.0	99.9	16.1	2.5	17.4	北	131.0	28.5	7.0	1007.6	1017.2	990.5
5	19.8	31.1	7.3	63.8	99.7	10.8	2.5	18.8	北	198.0	44.0	13.0	1004.3	1014.5	993.1
6	23.3	36.0	13.7	72.4	99.7	17.5	2.4	17.1	北	187.5	30.0	16.0	1001.1	1010.2	985.8
7	29.6	39.7	21.4	67.7	99.9	29.9	2.2	31.9	北北東	299.5	18.5	8.0	1001.7	1011.4	969.1
8	29.4	38.5	17.5	64.4	97.7	28.3	2.7	20.9	西南西	28.5	62.5	4.0	1001	1007.0	985.8
9	23.5	32.6	15.1	81.2	99.9	21.1	2.2	34.8	北	261.5	52.5	20.0	1004.2	1011.7	961.4
10	18.5	31.1	9.2	71.9	99.9	31.6	2.2	21.2	北	27.5	186.5	8.0	1008.4	1016.3	981.4
11	13.1	24.5	3.2	76.5	99.4	29.1	1.6	13.3	北	37.5	13.0	5.0	1011.2	1019.1	1002.8
12	8.1	25.3	-1	75.9	99.9	33	2.3	20	北	68.5	23.5	10.0	1010.5	1022.0	998.0
平均	16.7	28.7	6.8	69.8	99.4	22.5	2.4	22	北	118.5	43.5	9.0	1006.9	1016.6	986.2

(8) 月別気象状況 (東消防署)

(平成30年中)

区分 月	気温 (℃)			湿度 (%)			風速 (m/s)			降水量 (mm)			気圧 (hpa)		
	月 平 均	最 高	最 低	月 平 均	最 高	最 低	月 平 均	最 大	風 向	月 合 計 値	日 最 大	降 水 日 数	月 平 均	最 高	最 低
1	0.2	13.0	-7.7	85.6	98.6	46.6	2.6	19.4	西	71.5	27.5	6.0	961.9	975.3	945.2
2	0.6	13.5	-8.1	77.4	98.3	18.8	2.6	19.1	西	12.0	10.5	3.0	963.1	971.0	946.7
3	6.8	19.4	-4.0	78.4	98.3	14.1	2.2	21.8	東	106.5	34.0	9.0	963.1	974.9	936.3
4	12.3	24.1	-1.0	77.4	98.3	22.2	2.1	18.8	西	144.5	49.5	9.0	961.4	969.9	945.4
5	15.9	26.9	2.9	77.4	98.3	15.8	2.0	16.9	西	211.0	69.5	14.0	958.9	967.4	948.0
6	19.5	29.7	10.3	85.9	98.6	32.2	1.9	15.7	西南西	196.0	82.5	14.0	956.4	966.2	941.8
7	25.3	34.3	18.8	84.1	98.6	40.2	1.7	23.2	北西	219.0	80.5	7.0	958.1	967.0	925.5
8	24.8	32.6	13.5	83.7	98.6	41.1	2.0	19.6	東	81.5	24.5	6.0	957.3	963.0	943.9
9	19.9	28.1	10.8	92.3	98.6	35.5	1.8	27.9	南	385.0	61.5	19.0	959.6	966.7	918.0
10	14.3	28.1	3.5	87.0	98.6	48.0	1.6	22.2	西	26.5	10.0	8.0	962.8	970.6	937.0
11	9.2	19.8	-0.9	88.6	98.6	42.5	1.1	11.2	西	34.0	15.5	5.0	966.0	971.7	958.5
12	4.8	21.6	-4.3	87.5	98.6	42.5	2.2	25.0	西	49.5	15.0	12.0	965.8	976.0	954.0
平均	12.8	24.3	2.8	83.8	98.5	33.3	2.0	20.1	西	128.1	40.0	9.3	961.2	970.0	941.7

救 急 関 係



「奈良県ドクターヘリ要請訓練」

16 救急概要

平成30年中の救急出場件数は20,362件で前年と比べて1,285件増加、搬送人員は18,432人となり前年度より1,183人増加しました。1年間で市民約19人に1人の割合で搬送したことになります。

救急出場件数を事故種別に分類するとトップに急病13,151件、続いて一般負傷3,437件、交通事故1,208件の順となっており、この3つの種別だけで全体の約87%を占めています。

当市においては、これらの救急事案に対処するため、平成4年度から救急高度化推進事業として最新の資器材と優れた救急隊員をもって、高規格救急自動車16台、救急救命士64名（平成31年1月1日現在）を配置、うち高規格救急自動車1台を平成22年10月よりドクターカーとして運用し、あらゆる救急事故発生に備え市民の救命率向上を図るために万全の体制を期しております。



「奈良市消防局ドクターカー」

17 救急資器材

(平成30年4月1日現在)

分 類	品 名	分 類	品 名
観 察 用 資 器 材	患者監視装置	保 温 ・ 搬 送 用 資 器 材	雨おおい
	血圧計		スクープストレッチャー
	血中酸素飽和度測定器		担架
	検眼ライト		バックボード
	心電計		保温用毛布
	体温計	資 通 器 信 材 用	車載無線機
	聴診器		携帯電話
	血糖値測定器		情報通信端末
呼 吸 ・ 循 環 管 理 用 資 器 材	気道確保用資器材		心電図伝送等送受信機器
	吸引器一式	資 保 創 器 護 傷 材 用 等	固定用資器材
	喉頭鏡		創傷保護用資器材
	酸素吸入器一式	資 消 止 感 器 毒 ・ 染 材 用 防	感染防止用資器材
	自動式人工呼吸器一式		消毒用資器材
	自動体外式除細動器	そ の 他 の 資 器 材	トリアージタグ
	手動式人工呼吸器一式		膿盆
	マギール鉗子		はさみ
	呼気二酸化炭素測定器具		ピンセット
	ショックパンツ		分娩用資器材
	自動式心マッサージ器		冷却用資器材
	心肺蘇生用背板		保安帽
	特定行為用資器材		救急かばん
	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡		警笛
資 救 器 出 材 用	救命浮環		懐中電灯
	救命綱		在宅療法継続用資器材
	万能斧		リングカッター

18 救急概況（前年との比較）

区 分 \ 年 別		平成 30 年	平成 29 年	比較（△減）
出場件数		20,362	19,077	1,285
事故種別	火災	52	28	24
	自然災害	3	1	2
	水難	4	3	1
	交通	1,208	1,384	△176
	労働災害	165	154	11
	運動競技	113	128	△15
	一般負傷	3,437	3,235	202
	加害	68	80	△12
	自損行為	150	145	5
	急病	13,151	12,115	1,036
	転院搬送	1,746	1,582	164
	医師搬送	214	162	52
	その他	51	60	△9
救急件数		18,290	17,107	1,183
搬送人員（合計）		18,432	17,249	1,183
1ヵ月平均出場件数		1,696.8	1,589.8	107
1日平均出場件数		55.8	52.3	3.5

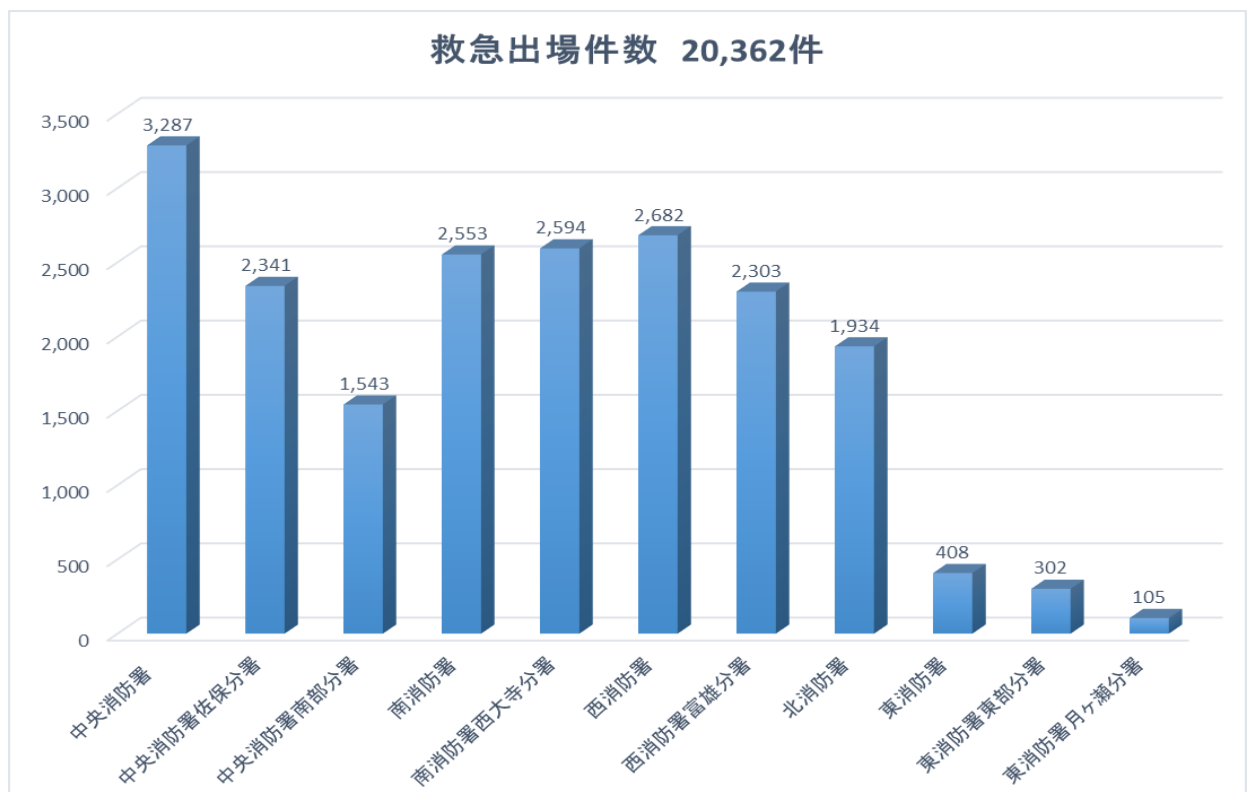
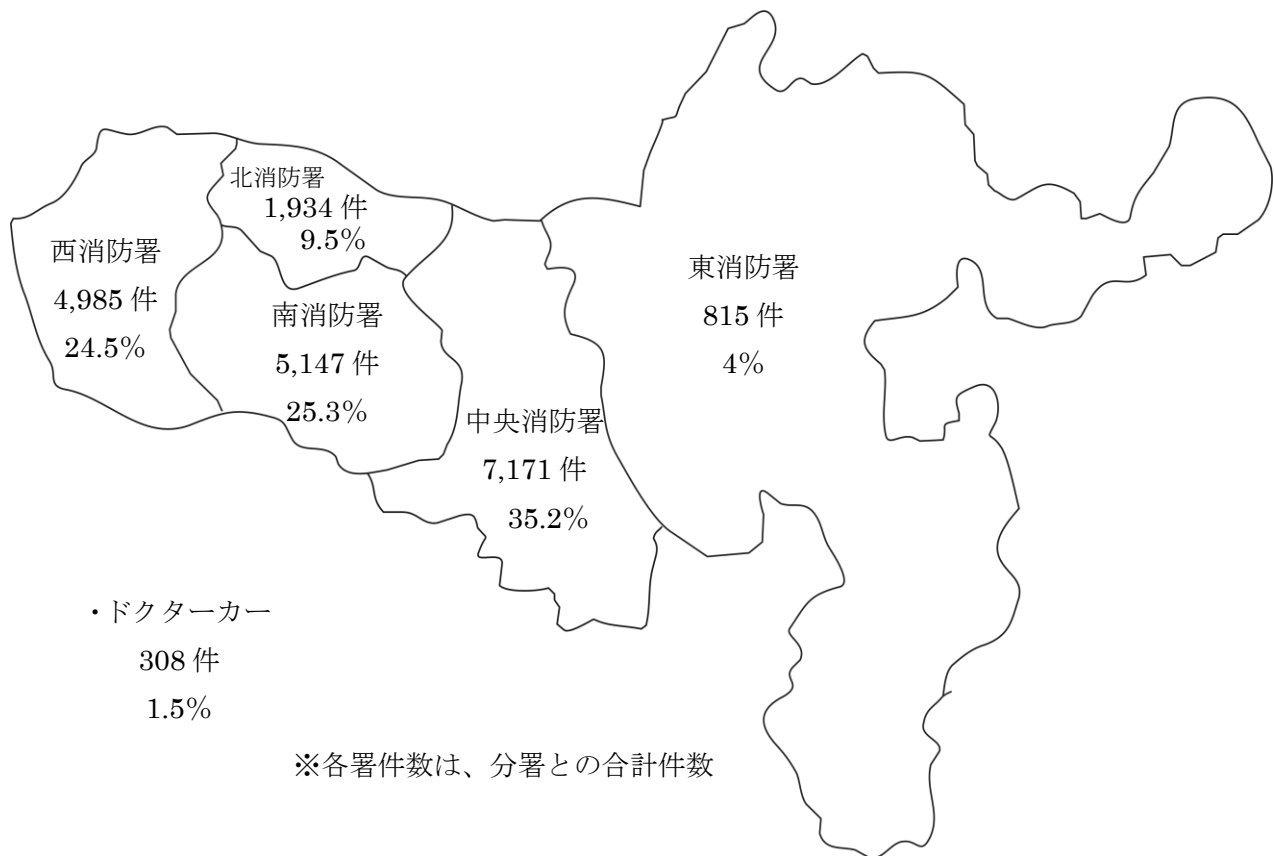
19 署別救急状況

(平成30年中)

種別 区分		合 計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	
局 本 部		出場件数	2										2	
		搬送人員	2										2	
ドクターカー		出場件数	308				2		3		2	87	214	
		搬送人員	22				1		1		1	19		
中央 消防署	本 署	出場件数	3,287	11		205	35	12	535	15	26	2,125	323	
		搬送人員	2,965	2		209	35	10	485	12	22	1,872	318	
	佐保 分署	出場件数	2,341	4	1	138	24	21	469	9	17	1,511	147	
		搬送人員	2,121	1	1	134	25	22	425	8	8	1,352	145	
	南部 分署	出場件数	1,543	3		114	12	3	275	5	12	1,013	106	
		搬送人員	1,450	1		114	12	3	265	5	7	939	104	
南 消防署	本 署	出場件数	2,553	9		192	22	8	385	12	17	1,546	361	
		搬送人員	2,352	3		197	21	9	364	8	13	1,385	351	
	西大寺 分署	出場件数	2,594	4		148	17	17	463	7	22	1,670	246	
		搬送人員	2,344	2		146	17	18	420	5	17	1,481	238	
西 消防署	本 署	出場件数	2,682	5	2	112	16	9	453	5	21	1,812	246	
		搬送人員	2,475	2		105	15	9	411	3	14	1,678	238	
	富雄 分署	出場件数	2,303	5		125	16	6	406	7	14	1,524	199	
		搬送人員	2,159	2		115	16	6	389	5	11	1,421	194	
北 消防署	本 署	出場件数	1,934	2		104	9	25	304	5	12	1,333	140	
		搬送人員	1,798			104	9	24	278	4	9	1,233	137	
東 消防署	本 署	出場件数	408	6		34	8	11	49	2	3	281	13	
		搬送人員	365	2		29	8	11	46	2	2	256	9	
	東部 分署	出場件数	302	3		29	2	1	77	1	2	178	9	
		搬送人員	288	1		30	1	1	76	1	2	168	8	
	月ヶ瀬 分署	出場件数	105			7	2		18		2	71	5	
		搬送人員	91			7	1		16		1	61	5	
合 計		出場件数	20,362	52	3	4	1,208	165	113	3,437	68	150	13,151	2,011
		搬送人員	18,432	16	1	1	1,190	161	113	3,176	53	107	11,865	1,749

20 署別救急件数

(平成30年中)



21 月別救急状況

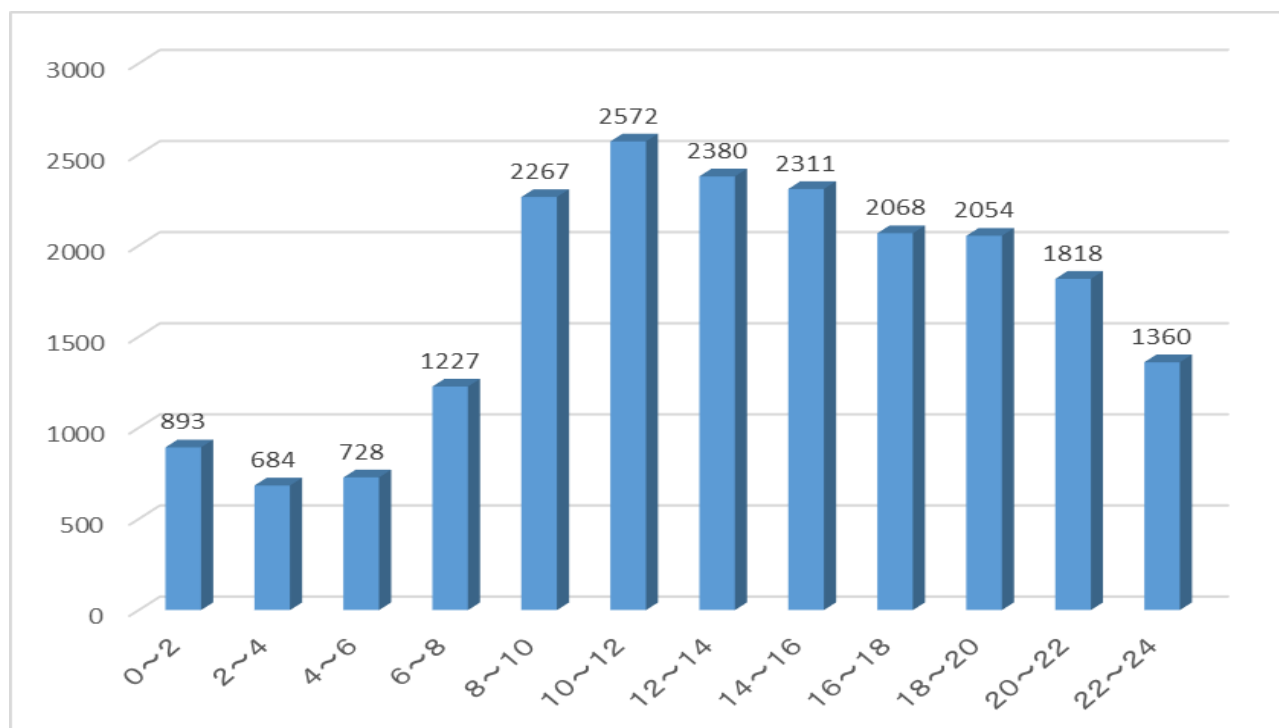
(平成30年中)

月別 事故種別	区分	計	事故種別										
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計	出場件数	20,362	52	3	4	1,208	165	113	3,437	68	150	13,151	2,011
	搬送人員	18,432	16	1	1	1,190	161	113	3,176	53	107	11,865	1,749
1	出場件数	1,928	4			79	6	6	319	3	17	1,317	177
	搬送人員	1,750	2			83	6	6	286	3	11	1,195	158
2	出場件数	1,668	7			97	9	6	284	4	10	1,075	176
	搬送人員	1,445				94	8	7	252	3	6	928	147
3	出場件数	1,616	6			97	10	10	284	4	14	1,019	172
	搬送人員	1,453	1			92	10	10	257	1	11	919	152
4	出場件数	1,507	1		1	86	14	11	225	5	11	972	181
	搬送人員	1,365				87	14	10	214	3	9	874	154
5	出場件数	1,585				107	14	5	274	4	10	1,030	141
	搬送人員	1,465				104	12	5	260	4	6	949	125
6	出場件数	1,586	3	2		101	8	13	260	6	10	1,022	161
	搬送人員	1,436				104	8	13	241	5	5	922	138
7	出場件数	1,959	5		1	90	35	17	287	7	11	1,312	194
	搬送人員	1,765	2			86	35	17	264	6	10	1,174	171
8	出場件数	1,801	11			122	23	17	255	12	17	1,176	168
	搬送人員	1,650	6			121	23	17	234	10	11	1,077	151
9	出場件数	1,486	4	1		110	11	9	274	4	13	935	125
	搬送人員	1,348	1	1		102	11	9	247	3	9	860	105
10	出場件数	1,757	2			104	8	7	315	4	15	1,132	170
	搬送人員	1,597				94	8	7	300	4	11	1,023	150
11	出場件数	1,644	7		2	108	17	6	323	8	8	1,021	144
	搬送人員	1,503	3		1	111	17	6	306	7	7	916	129
12	出場件数	1,825	2			107	10	6	337	7	14	1,140	202
	搬送人員	1,655	1			112	9	6	315	4	11	1,028	169

22 時間別救急状況

(平成30年中)

時間別 事故種別	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資機材等搬送	その他
計	20,362	52	3	4	1,208	165	113	3,437	68	150	13,151	1,746	214	0	51
0～2	893	6			31	1		95	6	15	696	37			6
2～4	684	2			25	1		79	7	8	546	13			3
4～6	728	2			28	1		94	3	6	582	12			
6～8	1,227	4			72	5		194	2	13	925	7			5
8～10	2,267	2	2	1	174	19	5	402	8	15	1,436	167	32		4
10～12	2,572	8		1	137	37	22	450	4	9	1,432	400	65		7
12～14	2,380	4			165	21	18	388	4	13	1,317	388	56		6
14～16	2,311	8	1	2	163	22	34	429	4	8	1,312	265	55		8
16～18	2,068	8			155	31	19	404	5	18	1,206	212	6		4
18～20	2,054	6			134	14	9	391	8	17	1,342	129			4
20～22	1,818	1			72	8	3	311	7	17	1,335	63			1
22～24	1,360	1			52	5	3	200	10	11	1,022	53			3



23 傷病程度別搬送人員

(平成30年中)

種別 区分	事故種別 傷病程度	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	合計	18,432	16	1	1	1,190	161	113	3,176	53	107	11,865	1,749
	軽症	7,846	6	1	0	928	93	81	1,826	38	33	4,742	98
	中等症	9,390	8	0	1	220	57	31	1,184	14	49	6,445	1,381
	重症	1,017	2	0	0	35	11	1	155	1	15	527	270
	死亡	176	0	0	0	7	0	0	10	0	10	149	0
	その他	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0
新生児	軽症	3					—	—	1		—	1	1
	中等症	31					—	—			—	4	27
	重症	5					—	—			—		5
	死亡						—	—			—		
	その他						—	—			—		
乳幼児	軽症	661				35	—	1	182	1		432	10
	中等症	143					—		12			106	25
	重症	9					—		2			5	2
	死亡						—						
	その他						—						
少年	軽症	494				88	3	50	79	3	3	264	4
	中等症	156				10		9	23	1	3	84	26
	重症	14				4		1	2		2	1	4
	死亡	3				3							
	その他												
成人	軽症	2,975	3			565	72	29	407	25	29	1,810	35
	中等症	2,271	2			124	39	21	151	10	38	1,492	394
	重症	197				18	9		8		8	90	64
	死亡	26				2			1		7	16	
	その他	1										1	
老人	軽症	3,713	3	1		240	18	1	1,157	9	1	2,235	48
	中等症	6,789	6		1	86	18	1	998	3	8	4,759	909
	重症	792	2			13	2		143	1	5	431	195
	死亡	147				2			9		3	133	
	その他	2							1			1	

※ 網掛けにあつては該当なし

24 救急隊員が行った応急処置回数

(平成30年中)

事故種別	処置 傷病程度	止血	固定	人工呼吸	心マッサージ	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	保温	被覆	在宅療法継続	除細動	血圧測定	心音等の聴取	血中酸素飽和度	心電図
合計	合計	410	475	32	7	305	2,744	380	414	1,118	21	45	17,498	1,326	18,198	6,800
	死亡		15	6	1	174	159	171	8	1	1	16	10	59	129	139
	重症	14	55	19	5	131	516	167	36	29	2	29	897	157	969	621
	中等症	104	200	6	1		1,812	38	222	256	15		9,227	781	9,338	4,034
	軽症	292	205	1			257	4	148	831	3		7,361	329	7,759	2,005
	その他									1			3		3	1
急病	計	57	30	24	5	252	2,069	316	288	42	19	21	11,237	1,013	11,744	5,484
	死亡			4		148	140	145	6		1	8	8	51	110	120
	重症	1	2	14	4	104	339	135	18	2	2	13	442	115	500	419
	中等症	14	21	5	1		1,365	32	161	14	14		6,354	631	6,423	3,267
	軽症	42	7	1			225	4	103	26	2		4,431	216	4,709	1,678
	その他												2		2	
交通事故	計	54	198	1	1	11	41	14	20	243	0	0	1,153	97	1,171	116
	死亡		5	1		7	5	7	1	1			1	3	4	4
	重症	7	24		1	4	20	7	2	11			31	11	32	19
	中等症	16	61				11		6	53			220	29	219	40
	軽症	31	108				5		11	178			901	54	916	53
	その他															
一般負傷	計	254	177	0	0	24	101	30	55	744	1	1	3,010	115	3,115	461
	死亡		2			10	9	10	1				1	2	6	7
	重症	3	14			14	25	15	6	9		1	143	16	146	42
	中等症	57	95				56	5	20	153	1		1,173	50	1,176	195
	軽症	194	66				11		28	581			1,692	47	1,786	216
	その他									1			1		1	1
その他	計	45	70	7	1	18	533	20	51	89	1	23	2,098	101	2,168	739
	死亡		8	1	1	9	5	9				8		3	9	8
	重症	3	15	5		9	132	10	10	7		15	281	15	291	141
	中等症	17	23	1			380	1	35	36			1,480	71	1,520	532
	軽症	25	24				16		6	46	1		337	12	348	58
	その他															

25 救急救命士による特定行為実施状況

(平成30年中)

事故種別 応急処置	急 病					交 通 事 故					一 般 負 傷					そ の 他					合 計				
	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他
食道閉鎖式 エアウェイ	58	38				2	1				1	6				3	6				64	51	0	0	0
気管挿管	12	13									2	1					1				14	15	0	0	0
心停止後 静脈路確保	64	51				3	2				1	7				5	7				73	67	0	0	0
薬剤投与	59	42				1	2				1	7				5	7				66	58	0	0	0
エピペン																					0	0	0	0	0
血糖値測定		3	23	12																	0	3	23	12	0
心停止前 静脈路確保		6	17	9		1		1			1	1	1								2	7	19	9	0
ブドウ糖投与			12	8																	0	0	12	8	0
合 計	193	153	52	29	0	7	5	1	0	0	6	22	1	0	0	13	21	0	0	0	219	201	54	29	0

26 診療科目別搬送人員

(平成30年中)

診療科目別 傷病程度別	計	内 科	小 児 科	一 般 外 科	整 形 外 科	脳 外 科	循 環 器 科	消 化 器 科	産 婦 人 科	救 急 科	そ の 他
計	18,432	6,693	886	1,118	2,416	1,935	825	309	176	497	3,577
死 亡	176	57		1			1			81	36
重 症	1,017	179	12	19	174	101	84	12	4	286	146
中 等 症	9,390	4,015	212	259	1,177	946	584	238	139	114	1,706
軽 傷	7,846	2,441	662	838	1,065	888	156	59	33	16	1,688
そ の 他	3	1		1							1

27 過去5ヵ年の事故別救急状況

種別 区分		合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
平成26年	出場件数	17,597	29	1	2	1,435	128	101	2,790	73	189	11,037	1,812
	搬送人員	16,025	10	1		1,420	124	103	2,609	57	131	9,984	1,586
平成27年	出場件数	17,596	32	5	6	1,453	108	114	2,945	59	152	11,104	1,618
	搬送人員	16,148	9	5	2	1,455	108	114	2,717	57	105	10,130	1,446
平成28年	出場件数	18,320	36	2	1	1,396	144	112	3,020	74	174	11,532	1,829
	搬送人員	16,697	16	2		1,369	140	115	2,787	60	134	10,455	1,619
平成29年	出場件数	19,077	28	1	3	1,384	154	128	3,235	80	145	12,115	1,804
	搬送人員	17,249	8	1	2	1,343	149	132	2,975	68	115	10,896	1,560
平成30年	出場件数	20,362	52	3	4	1,208	165	113	3,437	68	150	13,151	2,011
	搬送人員	18,432	16	1	1	1,190	161	113	3,176	53	107	11,865	1,749



救 助 関 係



「特殊災害対応訓練」

28 救助概要

平成30年中の救助出動件数は208件で、うち115件の救助活動により、112名を救助しています。

消防機関の行う救助活動は、近年、都市化の進展に伴い、災害の態様は複雑多様化・大規模化の傾向を強めており、救助事象における活動は複雑多岐にわたるものとなり、救助における高度な知識と技術が要求されるものとなっています。

当市の救助体制は、南消防署に高度な救助資機材を導入した高度救助隊、中央消防署に特別救助隊、西消防署に専任救助隊、北・東各消防署に兼任救助隊を配置し、熟練された隊員により、あらゆる災害に対処し、市民の安全・安心に期しています。

また、国際消防救助隊員として6名の隊員を総務省消防庁に登録しており、海外での大規模災害に備え、各種研修への参加をはじめ、あらゆる想定訓練・教養を実施し資質向上に努めています。



「第二阪奈有料道路阪奈トンネル合同防災訓練」

29 高度救助用資機材

高度救助隊・特別救助隊に配置している救助工作車Ⅱ・Ⅲ型に、ファイバースコープ等の探索機、熱画像直視装置等の高度な資機材を積載し、大地震で多発する崩壊現場に対応するため、地震警報器等を導入し装備の充実を図っております。

資機材名	特 長
画像探索機（Ⅰ型） （ファイバースコープ）	生き埋め現場でカメラを空隙内に差込探索する。（ケーブルが自由自在に曲がる。Ⅱ型と比較して焦点距離が短い。）
画像探索機（Ⅱ型）	倒壊ビルの壁に穴を開けカメラを差込、室内等を探索する。（棒カメラを差込、Ⅰ型と比較して焦点距離が長く全体を観察出来る。）
水中探査装置	水難救助現場等、水中にカメラを入れ検索する。
地中音響探索機	地中聴音機で閉鎖された遭難者のノック信号を聞いて遭難者の位置を確認する。
電磁波探査装置	地震や土砂災害などで倒壊した建物や土砂などの下敷きになっている生存者を探索する。
熱画像直視装置	赤外線カメラである。暗闇や煙の中で倒れている救助対象者を検索する。
夜間暗視装置	超高感度暗視スコープで暗闇や煙の中で倒れている救助対象者を検索する。
地震警報器	軽量かつコンパクトでどこでも使用できるもので、地震の初期微動を検知し、大きな揺れになる前にいち早く警報を発するため、隊員等の安全管理に必要である。
充電式鉄線カッター	バッテリーを電源とするため、倒壊ビル等の狭隘な現場での移動及び操作が容易である。
小型マット型空気ジャッキ	小さな隙間に挟まれた救助対象者を救出するもので、従前の重装備に比べ軽量化になっている。
携帯用コンクリート破壊器具	油圧、空圧、空気式器具の使用できない現場での削岩破壊に使用する携帯器具である。
携帯用救助器具	救助作業は徒歩による移動が多いため必要な救助器具（オノ、金テコ、ショベル他）を携帯用に軽量化したもの。
救助用支柱器具	倒壊した建物等に閉じ込められた救助対象者を救助するために柱等支えるもので、空気をういて遠隔操作で伸縮できる。

30 救助資機材

(平成30年4月1日現在)

分類	品名	分類	品名
一般救助用器具	かぎ付はし 三連はし 金属製折たたみはし ワイヤはし 空気式救助マッ 救命索発射銃 救助用縛 平担 ロ一 カ 滑	呼吸保護用器具	空気呼吸器（予備ボンベを含む。） 空気補充用ボンベ 酸素呼吸器（予備ボンベを含む。） 簡易呼吸器 防塵マスク 送排風機
		隊員保護用器具	革手袋 耐電手袋 安防全メガネ 携防塵警報器 防塵マスク 陽圧式化学防護服 耐熱放射線防護服（個人用線量計を含む。） 耐電衣 耐電ズボ 耐電長靴 防毒衣
重量物排除用器具	油圧ジャック 油圧スプレッダ 可搬ウイン ワイヤーロー マンホール救助器具 救助用簡易起重機 マット型空気ジャッキ 大型油圧スプレッダ 救助用支柱器具	水難救助用器具	潜水器具一式 救命胴衣 水中投光器 救命浮環 救命ボート 救船外機
切断用器具	油圧切断機 エンジンカッタ ガス溶断器 チェーンソー 鉄線カッタ 空気鋸 大型油圧切断機 空気切断機 コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	測定用器具	可燃性ガス測定器 有毒ガス測定器 酸素濃度測定器 放射線測定器 携帯型生物剤検知装置 携帯型化学剤検知機 化学剤検知紙
破壊用器具	万能マ ハシ 携帯用コンクリート破壊器具 削岩機 ハシマドリ	その他の救助用器具	投光器一式 携帯拡声器 携帯無線機 応急処置用セット その他の携帯用救助工具一式 緩降機 発電機
救助用器具	登山器具一式 バスケット担架		

31 救助概況（前年との比較）

年 別 区 分			平成 3 0 年	平成 2 9 年	比 較 △ 減
出 動 件 数			2 0 8	2 1 8	△ 1 0
事 故 種 別	火 災	建 物	6	0	6
		建 物 以 外	0	0	0
	交 通		3 9	4 4	△ 5
	水 難		9	8	1
	自 然 災 害		0	0	0
	機 械		7	3	4
	建 物		8 7	9 1	△ 4
	ガス ・ 酸欠		0	0	0
	破 裂		0	0	0
	そ の 他		6 0	7 2	△ 1 2
活 動 件 数			1 1 5	1 2 2	△ 7
救 助 人 員			1 1 2	1 2 4	△ 1 2
1 ヶ 月 平 均 出 動 件 数			1 7 . 3	1 8 . 2	△ 0 . 9

32 署別救助出動状況

(平成30年中)

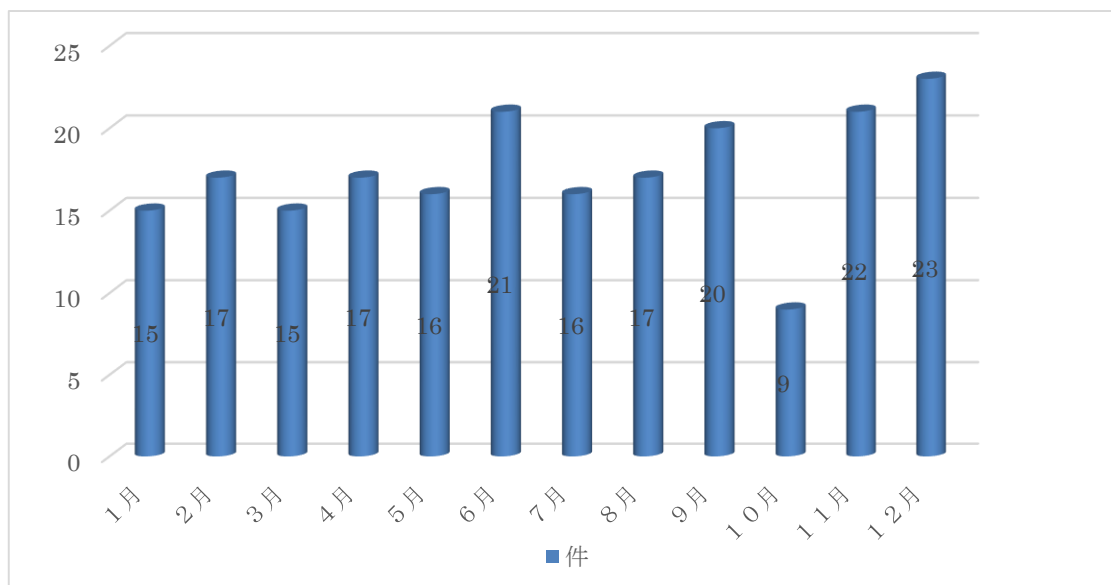
事故種別 区分		計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス ・ 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他
			建 物	建 物 以 外								
計	出動件数	208	6	0	39	9	0	7	87	0	0	60
	活動件数	115	6	0	20	5	0	5	66	0	0	13
	救助人員	112	7	0	23	5	0	5	59	0	0	13
	活動台数	179	8	0	31	12	0	9	96	0	0	23
	活動人員	673	31	0	120	43	0	33	360	0	0	86
中央 消防 署	出動件数	56	3		10	2		1	19			21
	活動件数	37	3		6	2		1	18			7
	救助人員	37	3		6	2		1	18			7
	活動台数	55	3		9	4		3	24			12
	活動人員	220	12		36	17		12	96			47
南 消 防 署	出動件数	54	1		13	3			19			18
	活動件数	20	1		4	2			12			1
	救助人員	20	2		4	2			11			1
	活動台数	30	1		5	4			18			2
	活動人員	114	4		20	15			67			8
西 消 防 署	出動件数	69	2		8	3		3	38			15
	活動件数	42	2		5	1		2	27			5
	救助人員	41	2		7	1		2	24			5
	活動台数	73	4		9	4		4	43			9
	活動人員	261	15		34	11		13	157			31
北 消 防 署	出動件数	16			4				10			2
	活動件数	12			3				9			
	救助人員	10			4				6			
	活動台数	16			5				11			
	活動人員	59			19				40			
東 消 防 署	出動件数	13			4	1		3	1			4
	活動件数	4			2			2				
	救助人員	4			2			2				
	活動台数	5			3			2				
	活動人員	19			11			8				

33 月別救助出動状況

(平成30年中)

区分 月別	出 動 件 数	事故の種類別										活 動 件 数	救 助 人 員
		火 災		交 通	水 難	自 然 災 害	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他		
		建 物	建 物 以 外										
計	208	6	0	39	9	0	7	87	0	0	60	115	112
1	15			1	1			7			6	9	8
2	17	1		3				6			7	9	9
3	15	1		3	1			6			4	8	7
4	17			7	1			5			4	7	7
5	16			2	1		2	5			6	10	11
6	21			7			3	6			5	12	13
7	16			1	1			10			4	13	12
8	17	1		5				7			4	9	8
9	20			7	2		1	5			5	9	9
1 0	9			1				2			6	3	3
1 1	22	3		1	2			12			4	12	13
1 2	23			1			1	16			5	14	12

月別救助出動件数



34 発生場所別救助出動状況

(平成30年中)

事故種別 発生場所別			計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス ・ 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他
				建 物	建 物 以 外								
計			208 (115)	6 (6)	0 (0)	39 (20)	9 (5)	0 (0)	7 (5)	87 (66)	0 (0)	0 (0)	60 (13)
屋 内	住 居		116 (70)	6 (6)						82 (62)			28 (2)
	その他の屋内		12 (5)						3 (2)	3 (2)			6 (1)
屋 外	道 路	高速自動車 国 道	0 (0)										
		一般国道	31 (14)			27 (14)			1 (0)				3 (0)
	内 水 面		9 (5)				9 (5)						
	外 水 面		0 (0)										
	山 岳		0 (0)										
	その他の屋外		33 (20)			11 (5)			3 (3)	2 (2)			17 (10)
	地 下		1 (1)			1 (1)							
そ の 他			6 (0)										6 (0)

※ () 内は活動件数

予 防 関 係



「消防フェア」

35 防火対象物一覧

(平成31年4月1日現在)

署所別 用途			合 計	中央消防署				南消防署			西消防署			北消防署		東消防署			
				小 計	本 署	佐 保	南 部	小 計	本 署	西大 寺	小 計	本 署	富 雄	小 計	本 署	小 計	本 署	東 部	月ヶ 瀬
計			10516	4102	2054	1420	628	2763	1915	848	1882	1330	552	927	927	842	484	229	129
1	イ		13	10		10								3	3	0			
	ロ		320	76	27	26	23	64	48	16	88	58	30	33	33	59	16	32	11
2	イ		1	1	1														
	ロ		26	14	9	5		11	9	2	1		1						
	ハ		0																
	ニ		11	5	3	2		3	3		1	1		2	2				
3	イ		7	1	1			3	3							3			3
	ロ		294	150	88	41	21	57	45	12	42	30	12	27	27	18	4	3	11
4			358	139	82	31	26	107	87	20	46	32	14	49	49	17	11	2	4
5	イ		283	197	110	44	43	15	10	5	3	2	1	3	3	65	53	6	6
	ロ		3746	1047	521	432	94	1273	805	468	917	713	204	490	490	19	15	2	2
6	イ	(1)	12					11	9	2	1		1						
		(2)	8	2	2			2	2		1	1		3	3				
		(3)	26	10	5	3	2	10	9	1	4	3	1	2	2				
		(4)	120	39	28	9	2	20	8	12	42	30	12	15	15	4	1	2	1
	ロ	(1)	114	34	13	11	10	23	15	8	33	24	9	16	16	8	3	4	1
		(2)	1								1		1						
		(3)	0																
		(4)	11	3		2	1	2	2		4		4	1	1	1		1	
		(5)	21	7	2	3	2	6	6		2		2	3	3	3	1	2	
	ハ	(1)	71	21	8	8	5	17	14	3	23	15	8	7	7	3	2		1
		(2)	0																
		(3)	83	35	13	8	14	17	11	6	20	17	3	4	4	7	4	2	1
		(4)	11	3		2	1	2	2		3	1	2	3	3				
		(5)	102	43	15	10	18	26	17	9	15	5	10	8	8	10	2	8	
	ニ		95	24	12	7	5	30	23	7	31	23	8	5	5	5		5	
7			479	181	72	85	24	59	40	19	148	91	57	48	48	43	24	17	2
8			39	18	10	7	1	12	2	10	7	7		2	2				
9	イ	2					2	2											
	ロ	19	15	9	3	3	1	1		1		1	1	1	1				1

署所別 用途		合 計	中央消防署				南消防署			西消防署			北消防署		東消防署			
			小 計	本 署	佐 保	南 部	小 計	本 署	西 大 寺	小 計	本 署	富 雄	小 計	本 署	小 計	本 署	東 部	月 ヶ 瀬
10		11	4		4		1	1		4	3	1	2	2				
11		196	98	43	45	10	40	25	15	32	17	15	6	6	20	12	5	3
12	イ	626	225	99	33	93	170	154	16	11	4	7	17	17	203	138	35	30
	ロ	2	2		2													
13	イ	211	104	72	25	7	56	47	9	27	21	6	16	16	8	4	4	
	ロ	3													3		3	
14		475	173	62	38	73	151	135	16	10	5	5	13	13	128	81	24	23
15		1015	435	190	168	77	259	197	62	115	76	39	70	70	136	86	30	20
16	イ	1036	589	391	162	36	167	97	70	181	111	70	59	59	40	18	17	5
	ロ	400	199	106	60	33	116	67	49	59	40	19	16	16	10	4	4	2
16 の 2		0																
16 の 3		0																
17		265	195	57	134	4	30	19	11	9		9	3	3	28	5	21	2
18		3	3	3														
19		0																
20		0																

(平成31年4月1日現在)

用途 \ 階数別		計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階
計		3,545	1,491	727	832	200	116	95	60	15	9
1	イ	3	2	1							
	ロ	18	13	1	4						
2	イ	1				1					
	ロ	8	3	2	2	1					
	ハ	0									
	ニ	4	3	1							
3	イ	2	2								
	ロ	28	14	5	4	1	2	2			
4		34	22	8	2	2					
5	イ	66	24	20	6	5	4	5		1	1
	ロ	1,748	602	259	615	82	61	66	48	10	5
6	イ	(1)	9	4	3		2				
		(2)	3	2	1						
		(3)	14	2	6	5	1				
		(4)	27	23	3	1					
	ロ	(1)	48	26	14	6	1	1			
		(2)	0								
		(3)	0								
		(4)	1	1							
		(5)	3	2	1						
	ハ	(1)	10	3	4	3					
		(2)	0								
		(3)	10	9	1						
		(4)	1	1							
		(5)	10	8	1		1				
	ニ	3	2	1							
7		201	125	60	8	5	1	1	1		
8		3	2	1							
9	イ	0									
	ロ	2	2								
10		1	1								
11		21	17	3		1					

用途 \ 階数別		計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階
12	イ	63	53	7	2		1				
	ロ	2	2								
13	イ	14	10	2	2						
	ロ	0									
14		33	21	10	2						
15		303	147	82	39	25	8	1	1		
16	イ	604	235	170	90	56	28	14	6	2	3
	ロ	246	108	61	40	19	7	5	4	2	
16の2		0									
16の3		0									
17		1	1								
18		0									
19		0									
20		0									

37 消防同意処理状況

(平成30年中)

月別 区分	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
取扱件数	425	25	29	42	50	41	41	25	34	22	40	45	31
確認申請	347	23	24	34	47	39	31	20	28	20	30	31	20
許可申請	61	1	5	7	3	1	8	3	5	2	9	7	10
計画通知	17	1	0	1	0	1	2	2	1	0	1	7	1

38 過去5ヵ年の建築同意処理件数状況

年別 区分	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年
計	425	484	458	434	451
新 築	347	440	410	382	416
増 築	61	23	31	34	33
その他	17	21	17	18	2

39 消防法及び火災予防条例に基づく各種届出状況

(平成30年中)

区 分	月 別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
計		8,615	534	662	829	707	771	782	705	620	625	944	704	732
防火・防災管理者選任届		133	7	15	11	8	12	13	6	9	14	10	9	19
防火・防災管理者解任届		19	1	2	3	1	2	1	1	2	5			1
防火・防災管理者選解任届		461	24	28	36	39	58	63	46	39	31	34	31	32
統括防火・防災管理者選任届		5					2			1			2	
統括防火・防災管理者解任届														
統括防火・防災管理者選解任届		2					1							1
消防計画（防火・防災）作成		355	22	28	28	33	34	44	28	31	23	28	22	34
消防計画（防火・防災）変更届		299	8	12	17	20	37	43	31	21	25	32	22	31
全体についての消防計画（防火・防災）作成届		8				1	1	2		1			2	1
全体についての消防計画（防火・防災）変更届		6				1		1		1		1		2
工事期間中における消防計画作成届		5	2			2				1				
自衛消防組織設置届		3				2						1		
自衛消防組織変更届		6						1	1	1		1	1	1
自衛消防訓練通知書		5		1				1		1		1		1
消防訓練等実施計画通知届		1,790	93	127	162	123	165	180	126	110	162	195	195	152
管理権原者変更届出書		6			1	4			1					
管理権原者（防災）変更届出		1				1								
改善（計画）報告書		31		1	5	2	7	1	1	1	3	3	4	3
表示マーク交付（更新）申請		9	2	1		2	1			1	1			1
見学通知書		6						1			3	1	1	
消防法令適合通知書交付申請（興行場）		1				1								
消防法令適合通知書交付申請（公衆浴場）		1		1										
消防法令適合通知書交付申請（旅館）		31	1	1	2	5	3	1	4	6	2	3	1	2
禁止行為の解除承認申請届		83	3	1	13	17	10	14	2	3	3	9	5	3
劇場等の客席特例適用申請書														
指定建造物工事等届		2										2		
指定建造物防災施設設置届														
核燃料物質等取扱届（新規・変更）		2									1			1
ヒートポンプ冷暖房機設置届		5		2						1			2	
ボイラー設置届		16		3	2	3		1		1	2	1	2	1
乾燥設備設置届		34	2		4	3	6	1	1		7	4	4	2
給湯湯沸設備設置届		15		2	6	1		1	1				4	
温風暖房機設置届														
炉設置届		3			1					1		1		
厨房設備設置届														
サウナ設備設置														
蓄電池設備設置届		8	1	2	2		1	1						1
発電設備設置届		14	3	2	1								4	4
変電設備設置届		43	5	1	10		3	1	9	3	1	1	5	4

区 分	月 別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
防火対象物使用開始届		335	29	21	37	29	32	26	30	43	16	20	27	25
防火対象物点検結果報告		252	13	19	34	30	15	18	24	21	20	19	15	24
防火対象物点検報告特例認定申請書		7								1	1	3	2	
防災管理点検結果報告		7	1			1		2		2				1
防災管理点検報告特例認定申請書		1											1	
消防用設備等設計届		163	10	14	13	17	13	19	14	7	17	15	9	15
消防用設備等設置届		697	43	69	96	47	46	42	58	90	50	53	53	50
消防用設備等着工届		381	25	45	35	34	39	36	38	27	34	25	23	20
消防用設備等点検結果報告届		2,873	200	243	275	230	253	224	199	135	178	446	223	267
消防用設備等特例申請書		9	3		3	1			1	1				
意見書交付申請書		0												
共同防災管理協議事項変更届		0												
地下貯蔵タンク等在庫管理等に関する計画届		3			1								2	
完成検査前水張検査（他市設置）		54	6	5		3	6	4	8	5	5	5	1	6
軽微な変更届		60	8	1	5	5	5	3	4	7	2	8	8	4
完成検査申請（設置）		5	3					1		1				
完成検査申請（変更）		36	1		3	2	1	1	4	11	1	6	5	1
危険物施設廃止届		9		3	2	1				3				
設置許可申請		3						1	1					1
変更許可申請（種類・数量・倍数・位置等）		36	1	1	1	2	2	2	12	2	4	4	3	2
危険物仮貯蔵・仮取扱申請（仮取扱）届		3		1	1								1	
危険物施設仮使用承認申請		36	1	1	1	2	2	2	12	2	4	4	3	2
危険物施設関係者住所氏名変更届		74	6	1	2	11	3	13	26	5				7
危険物施設使用休止・再開届（休止）		1							1					
危険物職務代行者選任解任届		19				4		4	6	2	2		1	
危険物保安監督者選任解任届		34	4	1	2	6	3	7	2	3	1		2	3
譲渡引渡届		9				3				3	1	1	1	
予防規程認可申請（制定・変更）		8			1	2		2			1		2	
危険物取扱者選任解任届		0												
危険物品名・数量又は指定数量の倍数変更届		1												1
圧縮アセチレンガス等貯蔵・取扱開始届		21	1		2	3	6	2		1	2	2	2	
圧縮アセチレンガス等貯蔵・取扱廃止届		10		2					1	2	2	1	1	1
指定可燃物・貯蔵取扱届出書		13			1	1		1	3	7				
指定可燃物・貯蔵取扱・廃止届出書		3								3				
少量危険物・貯蔵取扱届出書		17	4		6		1	1	1	1		1	2	
少量危険物・貯蔵取扱廃止届出書		22	1	5	4	1	1		2		1	1	1	5
ミニローリー・貯蔵取扱届出書		2				1						1		
ミニローリー・貯蔵取扱廃止届出書		3				2						1		
危険物施設等災害発生日		0												

40 類別、数量別危険物施設数

(平成31年4月1日現在)

製造所等の別 区分			計	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所				
					屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売	一 般
施 設 数			466	7	88	26	16	125	0	44	5	97	1	0	57
数 量 別	5 倍以下		219	1	57	8	8	56		41	2	18			28
	5 倍をこえ 1 0 倍以下		88	1	16	8	7	30			1	7			18
	1 0 〃 5 0 〃		84	2	10	6	1	36		1	2	16	1		9
	5 0 〃 1 0 0 〃		23	1	1	4		1		2		12			2
	1 0 0 〃 1 5 0 〃		7	1	2							4			
	1 5 0 〃 2 0 0 〃		6	1								5			
	2 0 0 〃 1 0 0 0 〃		39		2			2				35			
類 別	単 独	第 1 類	2		2										
		第 2 類	0												
		第 3 類	0												
		第 4 類	456	6	80	26	16	125		44	5	97	1		56
		第 5 類	0												
		第 6 類	0												
	混 在		8	1	6										1

41 危険物施設数及び各種許認可処理状況

(平成30年中)

区分		計	製造所	貯 蔵 所						取 扱 所				
				屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	給 油	第一種 販売	第二種 販売	一 般
施設数 処理状況		466	7	88	26	16	125	0	44	5	97	1	0	57
計		223	18	14	19	58	9	0	4	0	92	0	0	9
各種 許可・届 出状 況	設 置 許 可	3					2		1					
	変 更 許 可	36	6		5	1	1				22			1
	完 成 検 査 （ 設 置 ）	5		1			1		1		2			
	完 成 検 査 （ 変 更 ）	36	6		4	1	1				22			2
	仮 使 用	36	6		4	1	1				22			2
	水 圧 検 査	0												
	水 張 検 査	54				54								
	品名・数量・ 倍数変更届	1		1										
	譲渡引渡届	9			2		1		1		4			1
	廃 止 届	9		2					1		6			
保安監督者 選 解 任 届		34		10	4	1	2				14			3

42 奈良市所在の指定文化財等

(平成31年4月1日現在)

1 指定文化財 1,092件

【件数】

分 類		国 指 定			県 指 定	市 指 定	総 数	
有 形 文化財	建 造 物 () 内は棟数	国宝 3 1 (3 5)	重要文化財 7 4 (1 2 8)	計 ※ 1 0 4 (1 6 3)	4 1 (8 0)	2 8 (3 3)	1 7 3 (2 7 6)	
		美 術 工 芸 品	絵画	1 0	7 0	8 0	1 8	3 6
	彫刻		4 9	2 1 6	2 6 5	3 5	3 3	3 3 3
	工芸品		2 8	1 1 5	1 4 3	1 6	9	1 6 8
	書跡典籍 古 文 書		1 1	1 1 4	1 2 5	1 1	4	1 4 0
	考古資料		4	1 6	2 0	1	6	2 7
	歴史資料		6	6	5	4	1 5	
	小 計		国宝 1 3 3	重要文化財 6 1 1	計 ※ 7 4 3	小計 1 2 7	小計 1 2 0	小計 9 9 0
無形文化財		重要無形文化財 1			1		2	
民 俗 文化財	有形民俗文化財	重要有形民俗文化財 2			2	7	1 1	
	無形民俗文化財	重要無形民俗文化財 3			1 0	3	1 6	
記念物	史跡	特別史跡 2	史跡 2 5	計 2 7	5	8	4 0	
	名勝	特別名勝 2	名勝 6	計 8			8	
	天然記念物	特別天然記念物 1	天然記念物 5	計 6	6	1 3	2 5	
小 計		特史名天 5	史名天 3 6	計 4 1	小計 1 1	小計 2 1	小計 7 3	
総 数		7 9 0			1 5 1	1 5 1	1 , 0 9 2	

※ 有形文化財（建造物）の国指定の合計件数が国宝及び重要文化財の各件数の和と一致しないのは、1件に国宝・重要文化財の両方を含むものがあるためである。

※ 有形文化財の件数は、独立行政法人国立文化財機構（住所東京都）が所有し奈良国立博物館及び奈良文化財研究所が保管するものを含む。

2 登録有形文化財 105件

建造物	103件 [32箇所]
書跡・典籍	1件
歴史資料	1件

3 選定保存技術 3件「国3件 県0件」

4 旧村指定文化財 72件「旧月ヶ瀬村指定文化財30件、旧都祁村指定文化財42件」

※国選定保存技術、県指定文化財、市指定文化財と重複している12件を除く。

43 火災予防広報等活動状況

(平成30年中)

区 分 月 別	防 火 訓 練 等		電 話 パ ト ロ ー ル	広 報 活 動	消防庁舎施設見学		防 火 訪 問 ひ ー と り 般 家 暮 ら し 庭
	回 数	参 加 人 員			回 数	参 加 人 員	
計	79	3,596	22	1,140	26	1,137	6,602
1	5	289	12	91			2,191
2	7	403		43			1,008
3	5	142	3	125			753
4	6	142		92			
5	7	337		55	3	138	
6	8	255	3	70	2	107	
7	3	74		201	2	130	
8	3	200		139			
9	13	619		17	5	214	
10	8	280		17	4	165	207
11	9	530	4	100	8	304	141
12	5	325		190	2	79	2,302

44 女性防災クラブ・幼年消防クラブの現状

(1) 女性防災クラブ

(平成31年4月1日現在)

番号	クラブ名	クラブ員数	結成年月日
1	鶴 舞 地 区	5 0	S46. 11. 30
2	柳 生 地 区	2 6	S47. 9. 30
3	大 柳 生 地 区	5 8	S49. 7. 19
4	狹 川 地 区	1 2	S49. 8. 6
5	精 華 地 区	2 4	S50. 3. 16
6	鳥 見 地 区	8 5	H 8. 6. 13
7	朱 雀 地 区	5 3	H 9. 2. 22
8	左 京 地 区	8 2	H 9. 11. 18
9	明 治 地 区	7 7	H10. 3. 28
1 0	済 美 地 区	6 1	H10. 8. 21
1 1	済 美 南 地 区	9 2	H11. 9. 23
1 2	鼓 阪 地 区	6 4	H11. 11. 23
1 3	都 跡 地 区	8 4	H12. 2. 13
1 4	飛 鳥 地 区	8 2	H12. 4. 16
1 5	椿 井 地 区	6 8	H12. 4. 26
1 6	帯 解 地 区	9 2	H13. 5. 20
1 7	都 祁 地 区	6 3	H18. 10. 22
1 8	東 市	9 3	H21. 3. 8
1 9	伏 見 地 区	1 8	H26. 3. 16
2 0	平 城	8 1	H27. 3. 12
2 1	青 山 地 区	1 0	H29. 3. 4
2 2	奈 良 帝 塚 山 地 区	2 8	H29. 3. 11
2 3	富 雄 南 地 区	4 1	H30. 3. 4
2 4	西 大 寺 北 地 区	1 8	H31. 2. 22
	計	1, 3 6 2	



「女性防災クラブ防火防災研修」

(2) 幼年消防クラブ

(平成31年4月1日現在)

名 称		クラブ員数	結成年月日	所 在 地
計		201		
1	佐保山こども園	48	S62. 6. 11	奈良市法蓮町 1368 番地
2	学 園 前 学 園	33	H 4. 6. 19	奈良市中山町西三丁目 535 番地の 200
3	み ず ほ 保 育 園	7	H 5. 6. 30	奈良市北登美ヶ丘六丁目 28 番地の 10
4	あいのそのこども園	18	H10. 10. 2	奈良市法蓮町 986 番地の 73
5	中 登 美 こ ど も 園	39	H10. 10. 2	奈良市中登美ヶ丘一丁目 4162 番地
6	桜 華 保 育 園	24	H22. 11. 9	奈良市二名一丁目 2361 番地の 3
7	佐 保 川 こ ど も 園	32	H22. 11. 9	奈良市法蓮町 393 番地



「幼年消防クラブ結成のつどい」



火 災 統 計



「文化財防火デーに伴う消防合同訓練」

45 火災概要

平成30年中に発生した火災件数は96件で前年（67件）より29件増加しました。

- (1) 火災種別ごとに見ると、建物火災55件、林野火災5件、車両火災6件、その他の火災30件となっており、前年と比較すると建物火災が23件の増加、林野火災が1件の増加、車両火災が増減なし、その他の火災が5件の増加となっています。

出火原因別では、火入れ16件で全体の16.7%と最も多くなっています。その他の主な出火原因としては、こんろ7件（7.3%）、たばこ6件（6.3%）、放火（放火の疑い含む）・マッチ・ライター各5件（各5.2%）となっています。

- (2) 建物焼損床面積は、2,124㎡で前年（2,311㎡）に比べ187㎡減少しました。

建物焼損表面積は、197㎡で前年（211㎡）に比べ14㎡減少しました。

林野焼損面積は、151aで前年（90a）より61a増加しました。

- (3) 死傷者の内、死者は2名で前年（4名）より2名減少し、負傷者は15名で前年（9名）より6名増加しました。

- (4) 損害額は、245,500千円で前年（441,747千円）より196,247千円減少しました。

- (5) 出火率（人口1万人当たりの出火件数）は、2.7で前年（1.9）と比べ0.8ポイント増加しました。

- (6) 月別火災発生状況は、火災の多い月は3月が18件で最も多く、次いで2月の15件で、少ない月は5月・12月の2件でした。

- (7) 建物火災の発生状況については、用途別にみると専用住宅21件、共同住宅13件、併用住宅2件と住宅からの出火が建物火災全体の65.5%を占めています。

主な出火原因では、こんろ7件（12.7%）、たばこ4件（7.3%）、マッチ・ライター・灯火が各3件（各5.5%）となっています。

46 火災概況（前年との比較）

年 別 区 分	平 成 3 0 年	平 成 2 9 年	比 較 △減
出火件数	9 6	6 7	2 9
建 物	5 5	3 2	2 3
林 野	5	4	1
車 両	6	6	0
そ の 他	3 0	2 5	5
焼損棟数	8 0	5 0	3 0
全 焼	1 2	1 2	0
半 焼	8	5	3
部 分 焼	1 8	1 3	5
ぼ や	4 2	2 0	2 2
建物焼損床面積（㎡）	2, 1 2 4	2, 3 1 1	△ 1 8 7
建物焼損表面積（㎡）	1 9 7	2 1 1	△ 1 4
林野焼損面積（a）	1 5 1	9 0	6 1
死傷者	1 7	1 3	4
死 者	2	4	△ 2
負 傷 者	1 5	9	6
り災世帯数	5 8	3 8	2 0
全 損	1 1	1 2	△ 1
半 損	5	3	2
小 損	4 2	2 3	1 9
り災人員	1 4 7	8 3	6 4
損害額（千円）	2 4 5, 5 0 0	4 4 1, 7 4 7	△ 1 9 6, 2 4 7
建 物	2 4 2, 5 2 5	4 4 0, 1 7 5	△ 1 9 7, 6 5 0
林 野	0	0	0
車 両	2, 8 6 9	1, 4 7 6	1, 3 9 3
そ の 他	1 0 6	9 6	1 0
出火率（件） （人口 1 万人当たり）	2. 7	1. 9	0. 8

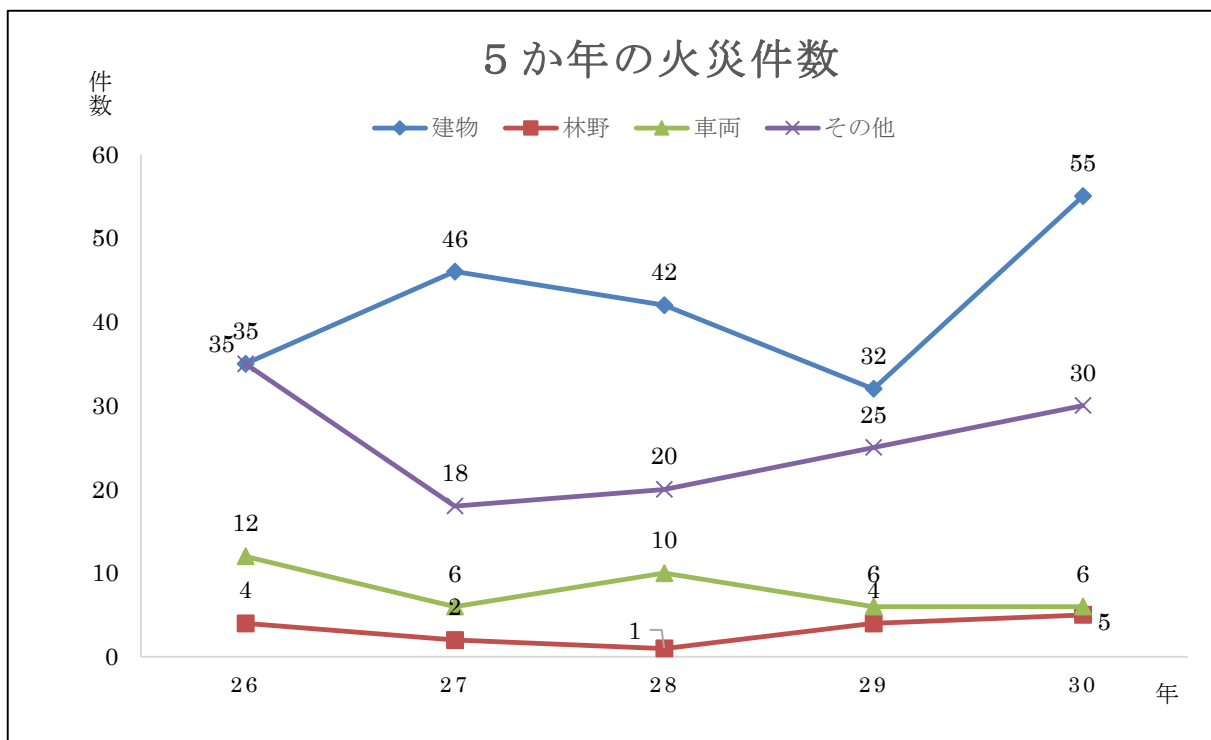
47 署別火災概況

(平成30年中)

署 別 区 分	計	中央署	南署	西署	北署	東署
出火件数	96	23	28	16	7	22
建 物	55	15	17	13	3	7
林 野	5					5
車 両	6	3	2		1	
そ の 他	30	5	9	3	3	10
焼損棟数	80	22	29	14	3	12
全 焼	12	4	4			4
半 焼	8	1	1	2	1	3
部 分 焼	18	7	4	3	1	3
ぼ や	42	10	20	9	1	2
建物焼損床面積 (㎡)	2,124	990	504	125	82	423
建物焼損表面積 (㎡)	197	47	69	7		74
林野焼損面積 (a)	151		122			29
死傷者	17	3	4	6		4
死 者	2	1		1		
負 傷 者	15	2	4	5		4
り災世帯数	58	13	29	10	1	5
全 損	11	3	5	1		2
半 損	5	1	2		1	1
小 損	42	9	22	9		2
り災人員	147	33	71	28	4	11
損害額 (千円)	245,500	134,061	46,715	2,306	50,038	12,380
建 物	242,525	132,228	45,852	2,305	49,864	12,276
林 野	0					
車 両	2,869	1,833	862		174	
そ の 他	106		1	1		104

48 過去5か年の火災状況

区分 年別	出火件数					焼 損 棟 数	焼 り 災 世 帯 数	焼 り 災 人 員	死傷者		焼損面積			損 害 額 (千円)
	計	建 物	林 野	車 両	そ の 他				死 者	負 傷 者	建物床面積 (㎡)	建物表面積 (㎡)	林 野 (a)	
30	96	55	5	6	30	80	58	147	2	15	2,124	197	151	245,500
29	67	32	4	6	25	50	38	83	4	9	2,311	211	90	441,747
28	73	42	1	10	20	66	60	157	3	11	2,185	549	68	161,370
27	72	46	2	6	18	60	43	98	3	7	1,247	67	1	144,961
26	86	35	4	12	35	44	31	79	3	9	1,320	137	26	102,988



49 校区別火災状況

(平成30年中)

区分 校区別	出 火 件 数					焼損 棟数	り災 世帯数	り災 人員	焼 損 面 積			死 傷 者		損害額 (千円)
	計	建物	林野	車両	その他				建物床面積 (㎡)	建物表面 積 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	
総 計	96	55	5	6	30	80	58	147	2,124	197	151	2	15	245,500
椿 井	0													
飛 鳥	4	3			1	5	1	3	42			1		9,057
鼓 阪	2	1		1		4	4	11	540	24				47,662
済 美	4	3			1	4	3	8	43	20			1	382
佐 保	1				1									
大 宮	5	5				5	1	1	209	3			1	57,045
都 跡	11	6			5	7	4	13	39	2			2	6,676
大 安 寺	4	2		1	1	6	5	8	207	20				2,519
東 市	0													
平 城	1				1									
辰 市	3	2			1	2	1	3	114					13,064
明 治	2	2				3	3	8	40					7,020
帯 解	4			2	2									
伏 見	4	3			1	4	1	7	8	25			2	2,597
富 雄 南	3	2			1	3	3	11	120			1	2	
富 雄 北	3	3				3	3	7	1	6			2	800
田 原	0													
興 東	5	1	2		2	1			52		12			2,360
柳 生	1				1								1	
あやめ池	0													
鶴 舞	2	1			1	1								1,000
鳥 見	0													
登美ヶ丘	0													
六 条	2			1	1	1	4	5		2				839
青 和	2	2				2	2	4	2				1	232
右 京	0													
東登美ヶ丘	1	1				1								169
二 名	1	1				1			2					64
西大寺北	1	1				4	4	11	115					16,236
富雄第三	1	1				1	1	6		1				10
平 城 西	0													
大安寺西	2	2				2	4	9	14					5,688
三 碓	3	2			1	2	1							31
神 功	2			1	1									174
朱 雀	0													
済 美 南	1	1				1	1	2	3					12
鼓 阪 北	0													
伏 見 南	1	1				5	6	15	120	20	122			11,979
佐 保 台	0													
佐 保 川	0													
左 京	4	3			1	3	1	4	82					49,864
月ヶ瀬	4	3			1	5	3	8	35	6			1	877
都 祁	12	3	3		6	4	2	3	336	68	17		2	9,143

注) 平成29年4月1日以降、精華校区は帯解校区に、並松、吐山、六郷校区は都祁校区に統合

50 気象別火災状況

(1) 風速別

(平成30年中)

風速 (m/s) 火災種別	計	0.0 以上 1.0 未満	1.0 以上 2.0 未満	2.0 以上 3.0 未満	3.0 以上 4.0 未満	4.0 以上 5.0 未満	5.0 以上 6.0 未満	6.0 以上
計	96	5	15	27	7	19	7	16
建 物	55	3	10	18	4	8	5	7
林 野	5		1	1			1	2
車 両	6	1	1		1	2		1
そ の 他	30	1	3	8	2	9	1	6

(2) 湿度別

(平成30年中)

湿度 (%) 火災種別	計	40 未満	40 以上 50 未満	50 以上 60 未満	60 以上 70 未満	70 以上 80 未満	80 以上 90 未満	90 以上
計	96	16	13	17	17	11	10	12
建 物	55	5	7	8	8	8	8	11
林 野	5	1	2	2				
車 両	6	1	1	1	2			1
そ の 他	30	9	3	6	7	3	2	

51 覚知方法別火災状況

(平成30年中)

覚知方法別 火災種別	計	火災報知 専用電話	加入電話	警察電話	駆け付け 通報	事後聞知	その他
計	96	75	2	4	0	11	4
建 物	55	45		1		8	1
林 野	5	4	1				
車 両	6	4		1			1
そ の 他	30	22	1	2		3	2

52 曜日別火災状況

(平成30年中)

曜日別 火災種別	計	日	月	火	水	木	金	土
計	96	16	15	14	11	14	14	12
建 物	55	9	10	7	6	7	9	7
林 野	5	1		2	1			1
車 両	6		2			3		1
そ の 他	30	6	3	5	4	4	5	3

53 覚知時間別火災状況

(平成30年中)

火災種別 覚知時間別	計	建 物	林 野	車 両	そ の 他
計	96	55	5	6	30
0 時～1 時	4	2			2
1 時～2 時	3	3			
2 時～3 時	4	3			1
3 時～4 時	2			1	1
4 時～5 時	2				2
5 時～6 時	3	3			
6 時～7 時	4	4			
7 時～8 時	1	1			
8 時～9 時	2	2			
9 時～10 時	2			1	1
10 時～11 時	7	6			1
11 時～12 時	5	1		1	3
12 時～13 時	7	3	1		3
13 時～14 時	1	1			
14 時～15 時	12	4	1		7
15 時～16 時	7	4			3
16 時～17 時	6	2	3		1
17 時～18 時	6	4		1	1
18 時～19 時	4	2			2
19 時～20 時	7	4		2	1
20 時～21 時	2	2			
21 時～22 時	2	1			1
22 時～23 時	1	1			
23 時～24 時	2	2			

備考 0 時～1 時は 0 時を含め 1 時は含まないものとし、以下同様とします。

54 月別火災状況

(平成30年中)

区分 月別	出火件数					焼損件数					り災世帯数				り 災 人 員	死傷者		焼損面積			火災別損害額（千円）				
	計	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損		死者	負傷者	建物床（㎡）	建物表（㎡）	林野（㌦）	計	建物	林野	車両	その他
1	6	5			1	5		1	1	3	4		1	3	15		2	42			6,618	6,618			
2	15	6	1	1	7	9	1	1	2	5	6	1	2	3	18		1	619	27	2	53,915	53,891		23	1
3	18	9	3	2	4	18	5		2	11	14	5		9	26		1	733	47	149	81,474	78,457		2,007	
4	7	2	1		4	2		1	1									54			2,424	2,424			
5	2	1		1		1				1	1			1	5				1		19	19			
6	3	3				6	1		2	3	7	1	1	5	17			129			21,924	21,924			
7	10	7			3	11		3	5	3	5	2	1	2	9		1	128	27		55,555	55,512			33
8	13	7			6	10	3	1	1	5	6	2		4	25	1	6	310	68		15,813	15,742			71
9	5	5				6			2	4	4			4	6		1	43	20		1,607	1,607			
10	6	1		1	4	2				2	5			5	11				3		80	10	89	1	
11	9	8		1		10	2	1	2	5	6			6	15	1	2	66	4		321	321			
12	2	1			1												1								
計	96	55	5	6	30	80	12	8	18	42	58	11	5	42	147	2	15	2,124	197	151	245,500	242,535	0	2,889	106
昨年計	67	32	4	6	25	50	12	5	13	20	38	12	3	23	83	4	9	2,311	211	90	441,747	440,175	0	1,476	96
比較△減	29	23	1	0	5	30	0	3	5	22	20	△1	2	19	64	△2	6	△187	△14	61	△193,247	△197,660	0	1,388	10

55 用途別・原因別火災状況

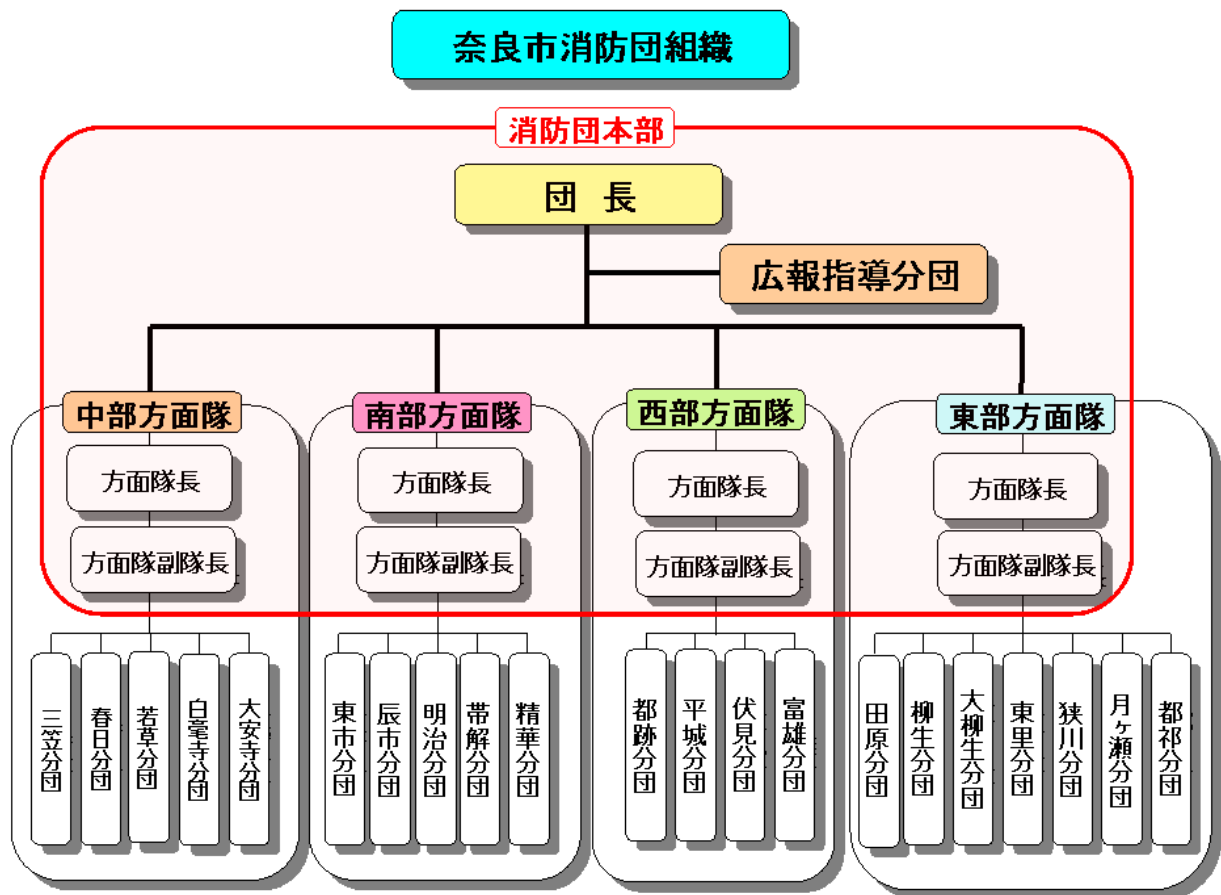
(平成30年中)

火災 種別	原因別 用途別	合	た	こ	か	風		焼	ス	こ	ボ	煙	排	電	電	電	内	配	火	マ	た	溶	灯	煙	取	火	放	放	そ	不
		計	ば	ろ	ま	呂	か	炉	却	ト	イ	突	気	機	装	電	燃	線	あ	ッ	き	接	突	の	入	火	火	火	火	明
		96	6	7	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3	2	0	2	0	5	1	2	3	0	1	16	2	3	15	25
建	小計	55	4	7					2						2	2		2		3		2	3		1	2	2	2	6	15
	専用住宅	21		3					1						2	1		1		1			2			1		1	2	6
	併用住宅	2														1				1										
	共同住宅	13	3	4					1											1			1		1					2
	劇場	0																												
	公会堂	0																												
	キャバレー	0																												
	遊戯場	0																												
	料理店	0																												
	飲食店	4																											3	1
	物品販売店舗	0																												
	旅館	0																												
	病院	0																												
	社会福祉施設	0																												
	幼稚園	0																												
	学校	0																												
	図書館	0																												
	特殊浴場	0																												
	公衆浴場	0																												
	停車場	0																												
	神社・寺院	0																												
	工場	3																				1								2
	スタジオ	0																												
	駐車場	0																												
	航空機格納庫	0																												
	倉庫	4																1								1				2
	事務所	0																												
	複合用途特定	4																									1	1	1	1
	複合用途非特定	0																												
	地下街	0																												
	準地下街	0																												
	文化財	0																												
	その他	4	1																			1					1			1
林	野	5																								4			1	
車	両	6																											3	
そ	の 他	30	2										1		1					2	1					10		1	5	

消 防 団 関 係



「全国女性消防操法大会訓練始め式」



「奈良市消防出初式放水演習」

方面隊別管轄図



分団別管轄図



57 消防団員の階級別定員数

消 防 団 員 の 配 置 編 成

(単位 人)

階級別 分団別		団長	方面 隊長	方面隊 副隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
消防団本部		1	4	8						13
	広報指導分団				1	1	2	2	34	40
中部 方面 隊	三笠分団				1	1	2	3	13	20
	春日分団				1	1	2	3	13	20
	若草分団				1	1	2	3	20	27
	白毫寺分団				1	1		1	7	10
	大安寺分団				1	1	2	3	18	25
南部 方面 隊	東市分団				1	1	2	3	23	30
	辰市分団				1	1	2	3	23	30
	明治分団				1	1	2	3	23	30
	帯解分団				1	1	2	3	23	30
	精華分団				1	1	2	3	33	40
西部 方面 隊	都跡分団				1	1	3	5	20	30
	平城分団				1	1	2	3	23	30
	伏見分団				1	1	2	3	23	30
	富雄分団				1	2	5	6	46	60
東部 方面 隊	田原分団				1	2	5	5	88	101
	柳生分団				1	2	6	6	66	81
	大柳生分団				1	2	5	5	54	67
	東里分団				1	1	2	2	36	42
	狭川分団				1	1	2	2	31	37
	月ヶ瀬分団				1	2	5	5	56	69
	都祁分団				1	3	11	11	112	138
計		1	4	8	22	29	68	83	785	1,000

58 消防団員の新任状況

(平成31年4月1日現在)

階 級	新 任 団員数	新 任 団 員 数 の う ち								新任団員 数のうち 41 歳以上 の再入団 員数
		21 歳未満	21 歳以上	26 歳以上	31 歳以上	36 歳以上	41 歳以上	46 歳以上	51 歳以上	
			25 歳以下	30 歳以下	35 歳以下	40 歳以下	45 歳以下	50 歳以下		
団 員	59	0	3	11	14	11	7	5	8	5
班 長										
部 長										
副分団長										
分 団 長										
副 団 長										
団 長										
合 計	59	0	3	11	14	11	7	5	8	5

59 消防団員の退職状況

(平成31年3月31日現在)

階 級	退職消防 団 員 数	退 職 消 防 団 員 数 の う ち						
		在 職 年 数						
		5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団 員	37	9	15	7	4	2		
班 長	4			2	1	1		
部 長	16		1	7	5	2	1	
副分団長	2			1	1			
分 団 長	7		1		2	3	1	
副 団 長	1						1	
団 長	1							1
合 計	68	9	17	17	13	8	3	1

退 職 事 由								
自己都合	定年など	傷 病			死 亡			整理統合
		公 務	そ の 他		公 務	そ の 他		
68	—	—			—			—

60 在職年数別消防団員数

(平成31年4月1日現在)

在職年数		5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団員数	964	248	227	250	144	66	21	8

61 消防団員の職業状況

(平成31年4月1日現在)

職 業 構 成																		
農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	水 道 業	電気・ガス熱供給・ 通信業	卸 売 ・ 小 売 業	飲 食 店	金 融 業	保 険 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	公務(他に分類されな いもの)			分 類 不 能 の 産 業	そ の 他
														国家公務員	地方公務員	特殊法人等公務 員に準ずる職員		
43	2		2	128	173	45	56	112	26	11	181	1	64	38	4	78		



「ファーストエイド研修」

62 消防団員の表彰状況

(平成30年度中)

表彰別 \ 階級別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
消防庁長官表彰								0
奈良市長表彰					4	6	23	33
県消防協会長表彰				1	7	5	2	15
県知事表彰		1	3	5	1			10
奈良市功労者表彰			2	3	5	2		12
奈良市有功者表彰			1	2	1	1		5
日本消防協会精績章		1	1					2
日本消防協会勤続章								0
日本消防協会功績章								0
消防団長表彰					2		40	42
合計	0	2	7	11	20	14	65	119



「奈良市消防出初式分列行進」

63 消防団員の出動状況

(平成30年度中)

計 (人員)	出 動 別				
	水火災出動	警戒出動	訓練出動	機械器具 点検出動	その他 出 動
	539	308	831	2,748	6,520

64 消防団機械器具等配備状況

(平成31年4月1日現在)

区 分 分 団 別		防 災 活動車	救 助 資 器材搭載型 車 両	消 防 ポンプ 自動車	小 型 動 力 ポンプ	積載車	機 械 器 具		
							簡 易 デジタル 無線機	背負式 消 火 水のう	布水槽
計		1	1	1	108	96	209	179	92
消 防 団 本 部		1	1		1		13		
中 部 方 面 隊	三 笠				2	1	6		1
	春 日				4	2	7		
	若 草				1	1	6		1
	白 毫 寺				1	1	4		1
	大 安 寺				2	2	6		2
南 部 方 面 隊	東 市				9	9	10		2
	辰 市				4	2	6		3
	明 治				6	6	5		2
	帯 解				7	7	7		5
	精 華				4	4	6	9	4
西 部 方 面 隊	都 跡				1	1	6		1
	平 城				3	3	8	5	3
	伏 見				1	1	6		1
	富 雄				4	4	12		4
東 部 方 面 隊	田 原			1	15	13	16	29	16
	柳 生				6	6	15	24	9
	大 柳 生				7	6	15	25	7
	東 里				9	6	14	24	9
	狭 川				3	3	10	22	3
	月 ケ 瀬				7	7	13	16	7
	都 祁				11	11	18	25	11

65 消防団員の報酬、費用弁償

階 級	職 名	報酬年額（円）
団 長	団 長	350,000
副 団 長	方 面 隊 長	270,000
分 団 長	方面隊副隊長	160,000
	分 団 長	145,000
副分団長	副 分 団 長	88,000
部 長	部 長	65,000
班 長	班 長	55,000
団 員	団 員	50,000

出 動 種 別	1 回あたりの費用弁償額（円）
水 火 災	4,000
警 戒	3,000
訓 練	2,500
機械器具点検	2,000
そ の 他	2,000

※ 1 回の出動時間が引き続き 4 時間を超えるときは、4 時間に達するごとに 1 回とする



「車両救出訓練」

表紙写真提供：奈良市観光協会

裏表紙イラスト：中谷 有香さん

中谷 有香（なかに ゆか）さんプロフィール

奈良市在住。紙芝居作家。

奈良を中心に創作紙芝居や奈良市の昔話を人々に伝える活動をしている。

「**住**宅用火災**警報器**」の設置は消防法の改正により義務化されています。

～ 住警器！ 設置のつぎは 維持・管理 ～



リニア新駅を
りにまね

奈良市八条五丁目404番地の1
奈良市消防局 総務課

TEL 0742-35-1199

FAX 0742-33-8436

E-mail shoubou-soumu@city.nara.lg.jp